京城日報

本紙定價 壹部參錢 壹箇月七十五錢 ▲郵稅拾五錢 ▲前金參箇月貳圓 ▲六箇月四圓 ▲壹箇年八圓
廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 ▲同特別二圓 ▲二號七字詰一行二圓 ▲三號八字詰同二圓 ▲四號九字詰一圓五十錢 ▲同六號十七字詰一圓五十錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局六千九番一六千九番二 守衛川局六千九番三 振替京城三〇〇番 六千九番五

三月一日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇平和會議の取極は世界結合の力に據る

=ウイルソン氏の演說=

ウイルソン大統領がボストン市にて爲せる演說要旨左の如し(華盛頓電報)

歐羅巴各地にて予の受けたる異常なる歡迎は彼等が米國民に對する敬意の象徵なり、米國が今日世界の信望を聚めつゝあるは予の矜りとする所なり平和會議の緩慢を責むる者あれど種々の關係複雜せるを以て开を充分に考慮せざる可らず予は各國提出案の穩當なるに驚けり殊に各國の提案者が先づ米國に愬ふるは米國が何等自ら求むる所無く理想を擁護したるに因る今日世界の希望は實に米國に來る米國にして之に反せんか世界は暗黑失望の淵に沈まん、巴里會議の結果が單に平和條約の締結に止まらば條約は如何に滿足なりとも唯ヴエルサイユ會議の卓上一の紙片を遺すのみに過ぎず惟ふに平和會議の取極めは文明世界の結合せる力に據るに非ずんば確保し得べからず予は此點に關し米國民が其判斷を誤らざる可きを信ず

□御誄を賜はる

聖上陛下には三月一日午前十時勅使日根野侍從を德壽宮に御差遣相成り故大勳位李太王殿下正寢前に於て左の御誄を賜はりたり

御誄

慈顏怡有リ孝道夙ニ聞エ黔黎恩ヲ懷キテ仁聲遠ク揚レリ槿域ニ君臨セシコト四十餘年勤儉ノ其ノ風寬厚ノ其ノ德天憖ニ遺サス曷ソ軫悼ニ勝ヘム茲ニ侍臣ヲ遣ハシ賻ヲ齎シテ以テ弔セシム

◇講和懸案三件

講和會議にて解決を要すべき懸案三件あり第一は對露政策、第二はダルマチヤ(墺國領)沿岸處分第三はライン左岸問題にて右は二月二十六日頃上程の運びとならん(倫敦電報)

◇邦人拒絕不合理

日本南洋統治稱讚

メルボルン(濠洲聯邦假首府所在地)スツテド、レビウ紙は二十二日『日本人の自由入國要求』と題する一論文を掲載せるが其文に曰く『日本の要求を拒絕するは困難なり日本は英佛米と均等なる同盟國にて其講和使節は五大國の一に列し居れり其國民に對し而も同盟國の領土內に入るを拒むは不合理なり故に本件は妥協の外解決の途無く即ち列國は日本の要求の正當なるを容認し又日本政府は現今日本移民を許さゞる諸國に對しては今後も旅券發給に就き注意すべし』尙ほ同紙は日本の南洋統治を極力稱讚せり(メルボルン發東京特電)

◇對獨賠償峻酷

聯合國賠償委員會にて近く根本原則の決定を見る可く大勢は獨逸に對し最も峻酷なる賠償を要求し數十年に亘り之が償却を行はしめんとするにあるが如し(巴里電報)

◇西班牙內閣辭職

ロマノネス伯を首班とせる西班牙內閣は辭職せりされど皇帝は豫算通過迄其留任を懇請しつゝあり(倫敦電報)

◇我艦隊ブ港碇泊

軍艦日進及び驅逐艇隊は獨逸潛水艇四隻を護送し佛國ブレスト港に碇泊中なるが佛國司令官は日本水兵を招待せり尙又同艦が白耳義各港に寄港せる際は到る所大歡迎を受けたりと(巴里電報)

◇廣東國會決議

廣東國會は北軍が完全に撤退するに非ざれば北方が和平を破壞する罪を宣布す可く決議せり(上海電報)

◇參政借欵取消勸告

唐紹儀氏は廿七日又も參戰借欵に就き提出を徐樹錚に發し日本既に其意あり此取消に躊躇する如きは解す可らずと(上海電報)

◇吉會行惱說無根

吉會鐵道交涉は順調に進捗しつゝあり行惱說は無根なり(北京電報)

◇高橋枝隊の健鬪・

敵軍擊攘=我軍死傷多數

陸軍省着電 目下在西伯利派遣討伐隊は寸暇無く過激派の掃蕩に努めつゝあり高橋枝隊は二月二十五日交戰の結果四名の負傷者を出せり尙同枝隊は二十六日ユタカ附近にて敵の大集團と衝突し激戰の後之を擊退せるが我軍の死傷多數なり以上の狀況なるを以てスパスカヤ附近駐屯の我野戰病院を二十七日急遽アレキセーフスクに移し死傷者の收容治療に任ぜしむ(東京特電)

◇國葬廢朝仰出

李太王殿下國葬當日廢朝仰出さるべし(東京特電)

◇松島領事轉任

哈爾賓總領事松島肇氏はオムスク總領事館開設と共に近く同地に赴任すべし(東京特電)

◇吉會測量開始

吉會線測量班第一隊三十一名は二月廿六日長春着三月一日より測量開始の豫定なるが日本側よりは立會居らず第二隊は會寧よりし五月末より着手の筈(長春特電)

◇褒賞傳達式

二月一日附を以て綠綬褒章を授けられたる福田增兵衞、藍綬褒章を授けられたる大池忠助兩氏に對し三月一日午前十時より釜山府廳樓上に於て若松府尹より右傳達式を擧行したるが參列者は府協議員學校組合員商業會議所議員各學校長其他官民の重なるもの多數式終了後茶菓の饗應あり十時三十分散會せり(釜山特電)

◇國葬參列員通過

國葬儀に參列すべき海軍將官會議々員海軍中將東鄕吉太郎、海軍省

機關大佐重村義一、會計檢查院部長河野秀男、同書記官武藤榮治郎、行政裁判所評定官渡邊廉吉氏等は何れも一日朝釜山上陸午前十時半發列車にて北行せり(釜山特電)

◇辭令

今回左の通り辭令ありたり(東京特電)

朝鮮總督府醫院醫官 桐原眞一
兼任京城醫學專門學校教授(七等)

京城高普學校教諭 安達大壽計
任仁川公立商業專修學校教授(七等)

朝鮮總督府醫院醫官 金杉榮藏
依願免本官並兼官

朝鮮總督府遞信書記 近藤昇
任遞信事務官補(七等)

◎都市組合組織

京畿金融組合聯合會にては要務開始以來着々活動の步を進め管內二十四地方金融組合の指導統一、聯絡を期しつゝあるが今聯合會理事の談に依れば

▲京畿道管內 に於ては大正七年度內に金融組合數を五箇所增設し更に來年度匆々五箇所を增設し近き將來に於て五十箇所に達せしめ農業資金商業資金其他資金の融通を圓滑ならしむべく期しつゝあり而して市街地金融組合は村落に於ける金融組合とは全然其の趣を異にし總て自治的に運營を助長誘導するの方針にて組合の區域、組合員數の如きは殆ど無制限の有樣にして理事監事等の人選も

▲組合員の選擧 に從つて等村落金融組合に比し全然解放的に規定されあり元來都市金融組合の組織は歐米に於ける庶民銀行の如きものにならへるものにして之が完全なる發達は市街地金融上極めて喜ぶべき現象なり歐洲に在りても村落に於ける金融組合よりも都市に於ける庶民銀行の進步著しきものあり京畿道管內に於ても既に水原、開城、仁川の諸市街地には都市金融組合の組織續々之が認可を得ば直ちに業務開始の運に至るべし然るに我が京城に於ては未だ其組織を見ず僅に光熙門東大門鍾路通りの

▲北方を區域 として二金融組合が鮮人側に關して略其組織を見目下認可手續中なるを聞くのみ其他本町通りの商人筋を目して組合を組織したしとて二三運動を始めし向きもありしが京城在住民の住所不安定或は信用狀態調查困難其他種々の事情により未だ議纏らざるものゝ如し而して信用狀態に關聯せる所謂業務系統を區域とし之に一定の土地區域を制限して金融組合の組織を爲す方便利なりと思ひ居るや都市金融組合が如何なる事を定し居るや都市金融組合其ものゝ性質又は其

▲組織の手續 等に關しては未だ一般民間に徹底し居らざるやの感ありて或は市民諸君の中には此時局に際し當局は何故に一部の金融組合を組織せざるや何故に小額資金融通機關を設けざるや等恰も當局の怠慢の如くに不平を唱ふる向きもあれど之は全く謬見にして當局にては都市金融組合の組織は成るべく自治的に發達せしめたき意嚮にて之れが組織は全く有志者の協力によつて組織せらるべき性質のものなり當局は只之れに許可を與ふるのみにして都市金融組合の便利なる機關が我京城に成立を見るは全く市民有志諸君の奮起に待つと謂ふも敢て過言に非ずと信ず

◎米界の恐慌相場

內地米價の崩落と鮮米

米價は外米輸入好望正米不買等により內地崩落の狀勢を示せしかば既に銀行の警戒により著しく軟弱を示したる鮮米相場は益々落勢の模樣にあり前途那邊にまで落附くや目下の所見定めつかず現に京城正米の中値を比較すれば如左

二十七日	三五、六〇
二十八日	三四、五〇
一日	三四、三〇

乃ち二十八日は二十七日に比し一圓の激落を來し更に一日は二十錢安を示し糯米の値段も左の如く變化を示し來れり

二十七日	四二、〇〇
二十八日	四一、五〇
一日	四一、〇〇

右の如く下押し步調にあり一方大阪の一日新甫寄附を見るに

當限	三六、七九
中限	三五、七九
先限	三五、〇一

の安値にして更に東京大阪は期米の不勢を受け正米も暴落の徵を呈し來れりとの報あり內地に於て投物頻出の模樣あると共に京城方面の高値時代の思惑米を抱き居れる者も銀行の警戒と共に愈々堪へ切れずこに投げ出さんとする者多き模樣に付茲兩三日中更に急轉直下的の暴落を見るべしとの觀測有力筋にあり

▲銀行の警戒

內地米價愈々不勢に付鮮米も之につれんとする傾向あり殊に鮮地銀行は潤商を明へ居れる關係上尙ほ下押すべしと思はるるに付各銀行の貸出減は一層嚴重ならんとするものゝ如く目先米界の恐慌を脫せんとしつゝあるが當業者にとりては一の福音たるべし

◎府內壯丁呼出

京城府兵事係にては來る四月一日より五日迄龍山第七十八聯隊に於て壯丁三百六十名を呼出し檢查を受けしむる筈なるが本年度府內適齡者は三百六十名にして之を前年度に比すれば二百名の減少を示せり之に關し府兵事當局は曰く府內に於ける適齡者壯丁數は年々約七百名位なるも其內內地に歸還の上受檢するものあるに由り呼出狀を交付する數は半減せらるゝ爲にて殊に本年の三百六十名が七年に比し百名減少せるは六年度に比し二百名減と云ふが如く年々減少しつゝあるは全く府內壯丁數の減少を意味するに非ずして內地歸還の上受檢する壯丁數の年々增加せる結果に外ならずと因に龍山第七十八聯隊に於ては四月一日より五日間に身體檢查を執行する筈なるが一日約百名宛位の見當なるべし之は京城府在住民のみならず近郊住民をも包含せる結果受檢壯丁數は幾分增加するに由るものなり

◎比島銀行浦鹽支店計畫

比律賓ナショナル銀行は浦鹽德斯に支店の新設をなす事となり目下行員を派して各種の關係を調查せしめ居れるが今後比島銀行西伯利貿易に貸せんとするにあらん(浦鹽特派員著)

議會植民地問答(七)

第四十一議會の本會議、豫算委員會等に於ける朝鮮滿洲其他植民地並に連接地方に關係せる質問應答の中重要なるものを掲ぐ。必ずしも前後の順序に次第を附せず(東京支局)

=衆議院豫算第二分科會(一)=

滿鐵配當金問題

▲小川鄕太郎氏 私は滿鐵收入の中に付て二三御尋ね致します、配當金が本年は三百五十萬圓計上してありますが、多分今まで二朱五厘配當して居つたのを、三朱五厘に增したものと思ひますが、是はどう云ふやうな會社との關係で斯うなつて居るのでありますか、尙ほ之に關聯しまして、普通の株主の配當が確か八朱と云ふことになつて居るやうに聞いて居りますが、是が同時に株主の配當金も增すと云ふことを、政府の方で許されることになるのでありますか、政府と滿鐵との配當に關する何か協定でもあれば一つ話して戴きたい

▲政府委員河田烈氏 唯今の御質問は、滿鐵の民間に對する配當金に付て、何ぞ政府と協定でもあるかと云ふ……

▲小川鄕太郎氏 政府の方の配當と株主の方の配當と纏めて一所に政府の方、配當金が出て居りますが、本年は三百五十萬圓殖えて居りますな、政府は尙ほ是から段々と此配當金は普通の株主と同樣に取る方針でありますか、また取れば取れるのではありませぬか

▲政府委員河田烈氏 唯今の御尋ねの政府の配當金の殖えて居ります理由は、今小川さんの御話の通り配當の增加と云ふことになつて居ります、一寸今數字を探して居りますが……

▲小川鄕太郎氏 今まで二朱五厘の配當の割合で、二百五十萬圓になつて居りましたが、本年は三百五十萬圓になつて居りますから、三朱五厘の配當があるに相違ない

▲政府委員河田烈氏 其點は政府と滿鐵との協議の結果、政府の配當金に對して滿鐵が百萬圓更に多く出すことになりました、併ながら民間に對する配當金は如何にするかと云ふことは、何等具體的の事に決つて居りませぬ

▲小川鄕太郎氏 其配當に關する政府と滿鐵との間に、何か協定なり出來ましたやうな習約でもあるのぢやありませぬか

▲政府委員河田烈氏 それは何と申しませうか、唯今の所見込以外、確實なる協定と云ふやうなことはございませぬ

▲小川鄕太郎氏 此滿鐵の株主配當の制限を解くと云ふことは、民間で隨分議論がある、それに付て政府はどう云ふ風に考へて居りますか

▲政府委員河田烈氏 民間の配當率の問題は八釜しい問題でありますが、是に付ては政府に於ても考慮して居りますが、唯今の所如何とも申上げまする方針が著いて居りませぬ

▲小川鄕太郎氏 それでは其次に移ります、此鴨綠江採木公司の配當が十七萬七千百八十圓とありますが、是はどう云ふ風な計算でありますか、政治問題は別として、財政問題から見た何を一つ承りたい

▲政府委員河田烈氏 それは此處で申上げまして、間違ふといけませぬから後で申上げます

樺太關東州會計

▲加藤政之助氏 此臨時部の九十九萬三千圓、關東都督府の經費それから樺太の經費の增加は隨分大きなものでありますが、是だけ俄に增さなければならぬ理由は何所にありますか

▲政府委員河田烈氏 唯今の關東都督府並に樺太特別會計に付ての經費の增加は、詳細に亘りますれば申上げる事も隨分ありますが、大體に於て關東都督府の經費は、種々爲すべき仕事が多くありまして、收支が之に伴はぬのでありまして、一般會計が補給を致して居る次第であります、增加する必要を認めまして、從來の二百萬圓を三百萬圓に致しました、此差額九十九萬三千圓と云ふ少許りの半端になつて居りますのは、前の御尋ねが二萬七千圓と云ふ半端であつた爲に、端數になつて居ります、大體に於て樺太に於ても同樣であります、樺太に於ける理由は主として臨時事件に關係して、物價の騰貴とか官吏の手當と云ふ樣な、臨時に要する費用があつた爲に、非常に經費が殖えました爲で補給を要するやうになつたのであります、尙經費增加の原因は各特別會計の所管に於て御質問になつた方が御便宜であらうと思ひます

◎鮮銀券縮少乎

朝鮮銀行券は月末一億圓臺を下るべしとの說ありしも滿洲方面に於ける關係の滯貨增加のため發行固定の聞きもあり月末は一億三百萬圓となり下旬の最低發行時に比すれば二百四五十萬圓の膨脹を見たるが今後は米價の激落と共に回收增大の趨向にあり從つて發行高は漸減すべしと

◎仁川新市發會

五月限發會の仁川期米は先限寄付三十五圓七十錢と之れを廿八日の先限止めに比し三十丁の下放に生れしが大阪安報に相場は五十錢に落ち結局三十五圓五十三錢に止めたるが目先內地の軟調に伴ひ暴落すべしとの唱へなり

◎群山工業狀況

大正七年中の群山府內工業品の生產額は金七十九萬九千七百十五圓にして大正六年の四十一萬九千五百十一圓に比し三十八萬二百四圓の增加を見たり

◎露貨換算率

三月一日以降當分の間滿鐵京管線竝日滿連絡旅客及び手荷物の長春驛通過並に日滿連絡貨物に適用すべき露貨運賃の換算率は百留に付十六圓八十錢と變更さる

◎朝鮮實業增資

京城府に支店を設置せる朝鮮實業株式會社は今回從來の資本額百萬圓を二百萬圓に增額し其の筋の許可を得たりと

◎野田遞相歷訪

野田遞相は一日午前釜山秘書官、影山監察官を隨へ總督府に山縣政務總監を訪ひそれより宇都宮軍司令官邸を訪問夫より遞信局に向ひ樓上第一應接室にて持地長官岡本技師以下各課長と會談し午後は金谷里靈所を視察したり

◎內田氏一行入城

外務省を代表して國葬に參列すべき內田定槌、五明砂平等の一行は一日朝入城巴城館に投ぜり

◎學務主任參觀

會議の爲め入城中なる各道學務主任は一日午前九時より京城中學校附屬小學校京城高等普通學校附屬普通學校を參觀せり

◎藤川道長官入城

安北道長官藤川利三郎氏は一日朝入城浦尾へ投ぜり

◎佐々木長官入城

佐々木慶南道長官は國葬參列の爲め一日朝入城せり

人事消息

▲野口研一氏(元山土木出張所長)土木工事に關し打合の爲十八日出府へ命ぜらる ▲岩城信太郎氏(釜山同上)同上 ▲森太郎氏(平壤同上)同上 ▲谷村頼尚氏(京城郵便局)同省中の所一日夜歸城 ▲富田儀作氏(鎭南浦實業家)一日入城宇尾へ ▲三面房太郎氏(釜山商業會議所會頭)一日入城巴城館へ

八面鋒

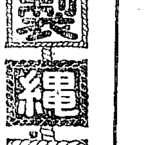
◈世は春に入るも、吾人は今日聞く所の輿論の餘りに多きに苦しむ、人若し其の何れを以て、第一位に置くべきやを問へば、其の何れなるかを、直ちに返答するに窮す、之れ質問せる人のみならんや、恐らく此の質問に對して直ちに之に答へ得る人、果して幾人ぞ、曰く講和會議、曰く人種的差別撤廢、曰く支那問題、曰く物價調節、數へ來れば際限なし、而して勞働問題を要すべし。然り、而して之を論ずるものも亦日に多く、之を議するの聲は、月に盛んなり。然れども問題は益々分化し、愈々決裂し、結局は其の歸着點をも失はんとす、洵に心細き次第ならずや。

◈吾人第一に憂ふ、我國の議論には一貫せる筋道と、精神の滲透なきを、此の點より見れば、歐米人は運動にも、議論にも、確かに一貫せる筋道あり、試みに看よ、ウイルソン君が國際聯盟に對しても、東奔西走、兎も角も遂に其の主張を貫徹したるに非ずや、ロイド、ジヨージ君は、海洋の自由を巧に撤回せしめたるに非ずや、更に佛國が戰後に於ける對獨策を、顧みて我が問題に想到せば如何、何れも解決多くして、船の行く處を知らず之も時代の趨勢と、隔絕したる所以ならずや、自ら惰らざるべからず。

◈吾人は飽く迄も眞面目ならざるべからず、眞面目ならんと欲して不眞面目となるは判らぬ始也。或人曰く、眞面目ならんと欲するも現代は眞面目となる能はず、不眞面目ならざらんと欲するが故に、吾等は區々たる眼前の事象を離れて、大觀的態度を執らざるを得ずと、之れ却つて不眞面目に非ずして眞面目也。吾人務に憶ふ、此の逆語を理解せざる國民は、酒を飲みて、醉はざる人類の發狂者なりと。

社員募集
給料參拾圓以上外ニ步合手當ヲ支給ス希望者ハ左記事務所ニ來談アレ
京城、大邱、釜山、群山、木浦、元山、平壤、大連
明治公債株式會社支店

謹告
李太王殿下國葬當日電車左ノ通リ運轉可仕候
一、午前四時ヨリ運轉開始可致候
一、左記區間ニ限リ午前七時三十分ヨリ式終了迄運轉ヲ停止可致候
黃金町通 黃金町二丁目ヨリ光熙門マデ
南大門通 明治町入口ヨリ鍾路マデ
本町線通 本町四丁目ヨリ鍾路マデ
一、淸凉里線(東大門ヨリ淸凉里マデ)ハ正午ヨリ御葬列通過迄停止可致候
京城電氣株式會社


製繩機
販路擴張の爲二年五個月又は割拂 特價提供
特約店急募 取引價は他店より二割を急申込あれ 營業案內進呈
大阪大正橋西詰 帝國農商社

値上謹告
一金貳圓六拾錢 大工賃金日當
爾來引續キ諸物價ノ暴騰著敷生活上頗ル困難ヲ窮メ居候間來ル三月一日ヨリ前記ノ通リ値上實行仕候間御諒察ノ上不相變御用命奉願上候
京城 大工業組合

宮崎式ペーチカの能力竝に功果に付ては昨年新設の榮を得ました東洋拓殖會社、大同生命保險會社殿、鮮滿工業社殿、古城梅溪殿、淸水組殿等の方々から尠からざる御賞讚を得て居ります本年新に御建築になる御方々や建築設計等に御從事の方々が御設計の中に必ずペーチカを御忘れのない樣に切望致します
ペーチカ新設 耐火煉瓦 煉炭特約販賣
京城府御成通八番地 宮崎組 電話龍山九四三。振替京城五四〇九

遠乘各位向きの堅牢實用自轉車
信用最も厚きダイガクタイヤ
堅牢と實用とを兼ねたるコーキタイヤ
舶來中古自轉車澤山在荷
京城本町二丁目七十三(電話二〇六一番)
足立自轉車商店

◎瓦値上廣告
今般諸物價騰貴の爲め左の通り値上仕り候
並瓦壹枚 五錢二厘
大正八年二月二十八日
京畿製瓦組合

開業御披露
鞍山唯一の休安
新開展の鐵の都 木の香ゆかしき
滿鐵指定 近江屋旅館 鞍山驛前
玉突等の娛樂場 簡易食堂有之候

日本は婦人が多く殊に上中流の若い婦人に多いと云ふ事を聞いて居ります、此理由に就て婦人は運動をしないから心臟が弱くそれで斃れる……性質の病氣だと云ふ事です、姑その他家族の……死ぬるのであるまいかと云ふ……近頃四五の婦人から聞きました元來婦人殊に若い婦人は神經が鋭敏で羞恥心が強いものですがそ……

◇身體を過勞して行くやうです、殊に婦人……は日本の婦人の過半は專門家……

◇日本は婦人……理想が誠に低い國で又婦人自身……これ迄は壓迫されても……ならなかつたやうです日本婦人……

○聖旨を傳達す
勅使日根野侍從一行參入 喪主殿下の御感激

賜誄の儀は三月一日午前十時より故大勲位李太王殿下正寢前に於て行はせられたり、是より前九時五十分より相前後して勅使日根野侍從、皇后御使三宮宮主事、東宮御使齋藤總督附武官、皇子御使久芳人事課長、有栖川宮御代拜武田事務官、梨本宮御代拜坪井事務官、十宮家御代拜木村事務官等各大禮裝美々しく馬車を驅りて德壽宮に參入し德孝殿に於て喪主殿下に對面し勅使は 聖旨の傳達及御下賜品を傳へたるに喪主殿下にはいと御感激の體にて 聖旨及び御下賜品を拜受せられ德孝殿を御退出あり殯殿に赴かせられたるが勅使、御使、御代拜順次德孝殿を退出せり

賜誄の御儀
咸寧殿裏の正寢に 勅使恭々しく宣讀す

正寢は午前九時裝飾を終へ同十時に至るや山縣葬儀掛長を始め葬儀掛高等官李王職高等官等大禮服正裝に各喪章を附して著床すれば伊藤祭官長、趙祭官副長は衣冠單扇島皮履、祭官は布衣單扇島皮履の裝ひにて著床、次に御親戚朴泳孝侯、李海昇侯、李址鎔伯、李載克男著床し次に德孝殿に於て勅使一行と御對面を濟まされたる喪主殿下、王世子殿下、公參進本位に御著床あり次に閔李王職長官の前導にて勅使は隨員御誄筥捧持を從へ正寢前に參進本位に就けば勅使隨員は幣帛を案上に安き祭官副長奉仕して幣帛は奠せらる右畢りて 聖上より榊、神饌、白地の錦、皇后陛下より榊、白縑、東宮より榊白絹を奠せられたりと承はる次に勅使は恭しく正寢に拜禮し謹みて御誄を宣讀し訖りて御誄を祭官副長に授け李王職長官の前導にて正寢前より退下し幣帛は祭官副長奉仕して撤せられ各員退下し賜誄の儀はいと嚴かに終れり斯くて十時四十分勅使を始め參列諸員は順次宮門を退出せり

▲喪主殿下より御禮 右賜誄の儀終了後喪主李王殿下には 兩陛下の優渥なる御沙汰及皇子の御深厚なる御沙汰に痛く御感激遊ばされ右御禮傳奏方を長谷川總督に御依頼相成りたるが總督は右の旨直ちに宮内大臣を通じて傳奏せり

▽差遣艦 =千早以下九隻= 釜山に來る

國葬敬弔の爲め差遣されたる軍艦千早以下九隻は一日午前九時威風堂々として釜山に入港碇泊せり(釜山特電)

▽儀仗兵 二日入城す 下士四百名

仁川碇泊第三艦隊より派遣せらるべき國葬儀參列海軍儀仗隊の兵員二個大隊約六百名は別府哉馬艦長指揮の下に二日午前十時四十分仁川驛發臨時列車にて出京同午後十二時十五分南大門着の筈なるが三日葬終了と共に午後三時三十分南大門發臨時列車にて午後五時仁川驛著直ちに本艦へ歸艦すべし

▽司令官入城

仁川碇泊第三艦隊司令官黑井中將以下幕僚艦長吹田艦長は一日午前九時十分仁川驛發列車にて出城又同列車にて下士以下四百名の兵員京城見學の爲め出城せり

▽敬弔の法要 大田佛敎

寺院にては來る三日午後一時より故李太王殿下國葬儀敬弔の爲め法要を營むべしと

御誄を奉じて 德壽宮へ參向せる日根野勅使

○一日十萬圓の金が
國葬のお陰で市中に落る 旅館も下宿も滿員續き 乞食成金が澤山出來る

故李太王殿下哀しき國葬儀も愈あと二日に差迫つて來た當日參列の諸名士は數日前より續々入城しつゝあるが此の前代未聞の國葬儀を拜觀せんものと各地方より市内に流れ込む內鮮民は此數日來ドツと殖ゑて南大門驛着列車は恰も鮮語の滿員、平素一日平均降車客二千五六百人が一日は

△約一萬人 に達した此分では國葬の當日迄には何の位流れ込むか殆んど豫想がつかず今日迄に入込んだ人員でも既に十萬を下るまいとの事である、每列車便毎にゾロ〳〵と南大門驛から吐き出された人波は偖し何處に落ち著くか、市內三十三の內地人旅館と百六十三の鮮人旅館は既に何れも滿員の盛況で各旅館は上を下への

△大混雜を 呈して居る旅館に入れ切らない者は一時下宿屋に轉み込んで泊めて貰つて居るので六十八の內地人下宿は無論二百十三の鮮人下宿は是れ又滿員の盛況を呈して居る、甚だしいものは鮮人旅館や下宿で突一間に數人は普通で或旅館に至つては十人も同室して坐つた儘うたゝ寢と云ふ始末、旅館や下宿でお弁當を食つた連中は知人友人を

△緣故を賴 つて泊めて貰つて居るが中には緣故はなし止むを得ず路傍にゴロ寢すると云ふ連中も餘程ある模樣である、斯く雪崩を打つて入込んだ無慮十萬の拜觀者が一人平均一圓を消費して一日十萬圓の金が市內に落る譯で一般商人はホク〳〵ものであるが殊に面白いのは

△乞食成金 が續々出來る事である乞食連は田舍者と見れば例の哀音で袖乞ひをするので生直な田舍者はドン〳〵金を與へるそれが積つて一人平均一日四五圓になるとの事である、國葬のお陰は妙な處に影響するものかな

○獨逸潛航艇
六月に來る 今マルタ島附近

海軍特務船關東丸は獨逸より捕獲艦として本邦に廻航すべき潛航艇受取の爲め昨年十二月二十六日横須賀を出航したるが當時海軍省にては本件の揭載を禁止したる爲同艦の行動に付ては今日迄不明なりしが二十六日を以て禁止を解除されたり同艦の指揮官は今泉大佐にして菅野少將有岡江本桑木の各大尉坐乘し居り同船は目下西班牙マルタ島にあり來る六月頃横須賀へ歸著の豫定なり因に同航中の潛航艇は左の如し(横須賀)

ロ百二十五號(千四百五十噸)一隻、ロ四十六號及五十五號(各七百五十噸)二隻、ロ百二十五號及百四十三號(各五百二十噸)二隻、ロ九十號及九十九號(各七百噸)二隻計七隻

○成瀨校長危險
肝臟肥大す

重態に陷つた儘病床にある成瀨日本女子大學校長は一週間程前から腹部に水氣溜ち肝臟肥大して内臟を壓迫する爲め目下非常に苦痛を訴へ愈危險に迫つて來たので同校幹部を始め高木二木兩博士は殆ど詰め切つて居る(東京)

○獨逸窮乏
◇一日二回の食物は野菜のみ 日本俘虜白石少佐一行還る

日本海軍機關少佐白石常陸丸船員

大正六年九月二十六日印度洋上に於て獨艦ウオルフ號の爲め擊沈の厄に逢ひ一年有半を捕虜となつて獨逸に在りたる常陸丸船員木村一等機關士以下十五名及び白石海軍機關少佐等は日本俘虜

△最初の 歸還者として二十七日午前九時伊豫丸にて上海に入港せり一同は頗る元氣旺盛なり木村一等機關士は語つて曰く獨逸に於ける吾々の待遇は每月二通の手紙と四通の葉書を出すことを許され收容所は粗末なるバラック式にして殆んど金物を用ひず木材さへ節約されボール紙を巧に使用し又床の中には乾草を入る、如何に獨逸が窮乏し居りしかを知るに足る就中

△食物の 窮乏は最も甚だしく一日二回の食物は野菜のみなりしと云々と一行は三月二日正午神戶着の豫定なり(上海特電)

○印半纏から……
生れた藝術 晝間は料理人 洋畫家島添鶴雄君

昨年の文展を觀た人はその洋畫部の一間に滿ちる『寶』と題する廿五號の靜物が陳列されてゐた事を記憶するであらう岡田三郎助氏は之を賞して『無限の努力』だと云つたが不幸にして當時

☆筆者の名 は一部識者の間に知れ渡るの機會を持たなかつた島添鶴雄『廿二歲の少年洋畫家は日本橋住吉町に白い『住吉軒』と云ふさゝやかな洋食店を營む其の店の主人公だつたのである紺の筒袖に洗ひ晒しの白の兵兒帶一しい服裝で朝の九時から翌日の

☆午前二時 まで或は廚に立ち働く不斷の努力をつゞけて來たのだ十一年前の秋父を失ひ更に幾人かの兄弟を失つた鶴雄君は十六の春東京市長から褒状を貰つて高等小學校を卒業するや直ちに紺の半纏を著て廚に立つたと同時に性來好きであつた繪畫を專心に學ぶべく小山正太郎氏の門に入つた

☆爾來六年 時に岡田三郎助氏を訪ひ或は太平洋畫會に學んで暇なき間に暇を得て作り上げた努力の結果は遂に昨年の文展に入選の名譽を擔ふに到つたのだつた目下開會中の太平洋畫會には『木葉』と『小屋の外』三點を出品して居る狹い二階の部屋の間に亂雜と取り散らかつた畫架の鶴雄君はカンバスを持ち出して快よい筆のタッチを味はつてゐるセザンヌも『生活を創造するのは藝術を創造するよりも易い』と云つてゐる

☆半纏から 生れた藝術の爲めに君が更に不斷の努力をつゞける事を望むのは獨り記者のみではあるまい(東京電信)

○臺灣飛行場
新設地 打狗附近に

臺灣飛行隊新設豫定地視察の爲渡臺せし工兵大尉中川泰輔氏は廿七日蓬萊丸にて門司通過歸東せるが同大尉の談に曰く臺灣の飛行場は打狗より二千米突の箇所に略決定せり最初は三臺位の飛行機を使用する積りにて操縱者は臺灣總督府の警官を選拔し內地に送りて修練するか或は內地より選拔して臺灣にて之を教練するか未だ決定せざるも飛行機は理蕃策に使用さる可き計畫なり(門司特電)

○巴里君府間八時間
飛行用强發動機發明

コンスタンチノープル發 ラトー博士はタービンの原則に基つき新飛行機發動機を發明せり同發動機は一分間三萬回の廻轉を起さしめ現在の上昇力に比して更に大なる高度に達せしめ且つ巴里アルジェル間を五時間、巴里君士坦丁堡間を八時間、巴里カイロ間を十一時間にて飛行せしむるやう設計せらる(巴里特電)

○筑豐鑛山學校
近く開校すべき新築の校舍全燒す

廿五日午後七時半頃福岡縣嘉穗郡頴田村に建築中なる筑豐鑛山學校の新築校舍より發火し三百坪の校舍を烏有に歸し九時十分鎭火損害約八萬圓同校は筑豐鑛業組合が十數萬圓を投じ昨年秋起工山田に學博士を校長に聘し來る四月開校の豫定のものなるが建築物は未だ請負者より引渡しを受けざるものなり

○過激派陰謀判明
二大人物暗殺計畫

佛首相クレマンソー氏狙擊犯人取調の結果過激派は五大國會議に於る二大人物及び佛國軍隊統帥者を殪すの計畫ありし事判明せり(巴里電報)

○大谷政子姬
葬儀は四日午後一時

流行感冒のため危篤に瀕せる大谷政子姬は二十六日夜容體愈險惡となり光瑞法主を始め夏方邸に確定内事局長以下局員一同詰切り在る(?)に力めたれば二十七日朝に至り稍小康を得たるも午前十時頃より又復刻々危險となり遂に午前十一時七分を以て眠るが如く死去したり葬儀は四日午後一時大谷別院に於て執行の筈(大阪)

○伯林遊民廿四萬
國力挽回に誠意なし

海牙發東京所着電=最近獨逸復員大臣の談に曰く獨國各方面に於て經濟界復興に對する努力の模樣認め難し反對に一部人士は速かに經濟界に破滅を誘起するを以て最良の方法と心得居るもの、如く石炭の缺乏交通の困難原料品の不足勞銀の增加は各地に懲へられ又失業者の數は全國二百萬圓の多きに達し伯林だけにても廿四萬の遊民ありと云々と(東京電話)

○入學屆出
=兒童保護者へ=

京城府學務係の調査によれば府內學校組合の管理に屬する八小學校に對する就學兒童入學者提出受付數は二十八日正午に於て一千二百名に達し尙ほ續々屆出あるべき見込なるが如し前して受付期日は三月末日限りなりしも便宜上期日受付を爲す由なるも既に入學期日も切迫し居れる事とて就學兒童の保護者は此際至急入學屆出を必要とすべし

○放火師範生は
懲役七年

長崎控訴院の判決 福岡地方裁判所に於て懲役七年の宣告を受け控訴したる福岡師範學校放火犯南條亭に對し廿四日長崎控訴院荒井裁判長は原判決を取消し更に懲役七年に處する旨判決言渡しありたり(長崎)

○咸南の賭博
六十餘名檢擧さる

咸南の賭博檢擧は既報の通なるが咸興警察署に於ては其後引續き檢擧の手を緩めず取調べ進行に伴ひ連類者續出し既に六十名以上の檢擧を見たるが近く一件書類を檢事局に送致す可しと

○橫領した上に
無錢飲食

岐阜市西材木町七番地生れ當時平壤府泉町泉屋旅館寄宿鬼頭清太郎(三)は同地西鮮鐵業所員玉木貞吉の配下に雇はれ中一月二十五日より二月十五日迄數回に渉り玉木より託せられたる金千八百餘圓を鐵物買入れに委託せられたる內より三百三十七圓を橫領し賊町松の家、同美人樓

○空巢狙
國葬と留守

▼龍山の賊捕はる 國葬に於ける空巢狙ひは極力犯人の檢擧に努めつゝあつた質屋古物商によつて其贓品を取調の結果入質の人相著衣により同一人と目星を著け

▼犯人を 調査中の所二月廿八日午後十時漸く逮捕した犯人は本籍地京城府錦町一五住所同府蓬町三の一〇七前科二犯史自斤(三)と云ふ本人の自白する所にである

新龍山に於ける空巢狙ひの大小被害は無數にして人心恟々たるより新龍山憲兵分隊は極力犯人の檢擧に努めつゝあつた(以下判讀困難)

○湯屋床屋休業

來る三日は故李太王殿下國葬儀當日に付敬弔の爲め市內の理髮業湯屋兩組合にては休業する事となれり

(前欄續) 勇樓等に於て費消したる外若松樓にては四日間流連して百十六圓八十錢の遊興を爲したるが旣に懷中無一物にて支拂ひに窮し同家を飛出し其儘逃走せんとする處を藪野刑事に捕へられ目下平壤署に於て取調中なりと

○酌婦の毒藥

新義州梛町料亭水月方抱へ酌婦みどりこと乙成たつ(二〇)は二十四日午後十二時過ぎ自宅に於て洗滌用劇藥リゾール液を多量に服用し自殺を圖りたるも死に切れず苦悶中を家人に認められ大騷ぎとなり直ちに古川新義州病院長の來診を乞ひ應急手當を施し入院せしめたれば生命には別條なきも稍々重患なれば全治まで相當の時日を要すべしと因に彼の死因は末永く契を結びし情人が近く此地を去らんとするを悲しみてなりと(新義州)

京城の灯し (カット)

△廿七日の晩開城は七時頃からの停電で全市大狼狽旅館などは不景氣な蠟燭の灯で辛うじて用を辨じて居た▲市中は眞闇々として夫れこそ鼻を摘まれても判らぬ位始めて行つたものは喫驚面喰つたが聞けば斯んな事は度々ある相だと云ふ△旅客からの御註進を其儘……△近來鮮人が贅澤になつて汽車に乘つても一二等客の大部分は鮮人に占められて居るとは注意すべき現象である

○棍棒强盜捕縛

平南江西郡水冊面金龍淳(二七)及び金應柱(二九)の兩名は身分不相應なる金を浪費せる擧動の不審の點より警察に於て同地駐在所巡査は此奴等適切の曲者ならんと目星をつけ取調をなしたる處果せるかな此奴は昨年十二月二日同郡龜堂面方へ押し入り棍棒を以て同人を脅迫し現金百四十六圓を强奪したる事自白せり餘罪ある見込にて目下取調中

よれば昨年十二月廿四日龍山漢江通一一銀行員永井伊之助留守宅に忍び入り衣類其他十八點(稿り價格約二百卅圓を手初めに二十五件なりと云ふも方法手段の同一なるより推せば餘罪尠からざる見込にて嚴重に取調中猶犯人は頗る剛情で贓品を突付けて取調べつゝあり贓品は大約回收し得る由なり同人は錠前拔取に巧にて器具として五寸大の錐樣鐵棒を用ひ樂々

▼錠前を 拔く技術には憲兵隊にても驚嘆し居れり國葬も近づく事故充分警戒に對しては各自に留意せられたく錠前等も嚴重なるものを使用せられたしと同憲兵隊長は語つた

梅咲く温泉好し
東萊温泉 蓬萊館
釜山より電車、自動車の便あり

名藥紹介

引風と たんせきは 十錢でも治る
但し油斷したら大變 つまり早いもの勝ち

◎近頃上中流の家庭で非常に評判のよいセキドミンと云ふ藥がある、宮田醫學士と數津と云ふドクトルが、多年共同研究の結果、合成して製劑した現今流行の惡性感冒を容易に撃退する事ができる痰咳感冒の良藥セキドミンが夫れである。

◎セキドミンと云ふ藥は、流石に宮田數津の兩大家が苦心の製劑であるだけ世間のありふれた藥とは全然異つて、主として貴重藥のみを配合し、之を小さな錠劑とした、せきどめ感冒藥としては誠に巧妙なものである、殊に子供や藥嫌ひの人でも飲み易く其服用量は少くして、其効力は實に大なるもので評判は非常に良い。

◎誰でも若し痰咳の爲に烈しく咳入つたり、喉にたんがぜらぜら切れかしたり、感冒で痰咳が出たり、咽候の變敗に痰咳が出たり或はたんせきの爲に咽喉が痛んだり、背骨が枯れたり、若くは夜中に頻りに咳嗽が出たり、喘息や病後などで咳嗽の出る時に急いで此セキドミンを服めば、極めて手がるに痰咳が止り熱も解け、肺炎、氣管支加答兒肋膜炎を始め感冒も快よくなる。

◎此藥は、三日分廿五錢、七日分五十錢、德用分一圓の三種ある、風邪だなと感じ、咳が出るなと思つた時には良藥セキドミンを服めば、容易之を治すことが出來るけれども、ナアニ感冒くらゐなと油斷して居たら最後、忽ち諸種の呼吸器病を續發し、氣管支加答兒、肺炎、肋膜炎となり、遂には終生不治の肺結核に罹つて、其病根を子孫に傳へる樣になる。

◎此セキドミンの近頃非常に賣れるのは、一つには此用心の爲め、家庭の常備藥として之を買ひ置く客も少くないからだと云ふことであるが、成程瓶入となつて居る藥であるから、其栓を堅くしてさへ置けば保存にも亦至極重寶な藥であるから服用に湯水も入らぬ旅行等の用心藥として携帶に便利である殊に製法は他に類のない錠劑である。

◎各地の信用ある藥店で賣つてゐる、奸商輩が類似の藥を賣出して顧客を瞞してゐるから、殊にセキドミンと指定して買へば安全である。

本舖 東京銀座 大阪東區 中南定太郎藥房

演藝案內

有樂館 ◎活動寫眞常設館 早川興行部直營 ユニヴアーサル會社特約 ▲寶島 二月二十五日より特別作品公開 ユニヴアーサル週報十九號 [illegible]

黃金館 ◎[illegible]「人か野獸か」全五卷 [illegible]「幽靈船」[illegible] 電話(二二六六)(二二六七)

大正館 ◎[illegible]「百々地三太夫」[illegible]「鐵道王の娘」[illegible]「女の生命」[illegible]「ドーグラスの好奇」 電話八七三 [illegible]

浪花館 ◎京城明治町 電話二六〇 [illegible] 舊劇「相馬大作」 [illegible]

壽座 ◎京城本町 電話九七八 [illegible]

被服拂下公告
一、羅紗衣外拾貳點 右參月七日午前拾時入札 京城憲兵隊

京城在鄕軍人
來ル三月三日故李太王國葬儀執行セラレ候ニ付左記ノ事項承知ノ上參列相成度候也
一、午前八時半奬忠壇前集合 [illegible]
一、下士以上ノ者ハ正装ノ者ヲ以テ軍服著用ノ者ニ限ル
一、式場ニ入場スルコトヲ得サル者ハ [illegible]
[illegible]
帝國在鄕軍人會京城分會

○粥の中に毒 京畿道廣州郡[illegible]

京畿道廣州郡慶安面胎田里李命卜(三〇)內縁の妻洪兒木(二九)は夫の不身持を怨み去る一月二十三日[illegible]

○車置場は三個所に

葬場に於ける車置場は貴顯の車馬[illegible]、第一車置場は大漢門より徒歩にて扈從せる[illegible]車置場は式場[illegible]後より[illegible]柵に沿うて設けあり。右第一車置場の[illegible]りて同じく電車道路に沿ひ、第三第二第三置場には藤治警視が主任として其任に當るべしと

○連絡船上陸客

○廿八日午前入港新羅丸一二等客[illegible]西尾傳次、西村太助、木[illegible]、高[illegible]、藤貞市、吉川[illegible]、井純一、同正子、平尾闘太郎、同きく一、鈴木直人、[illegible]、フレベツケキー、鈴木源二郎、[illegible]、正、高木[illegible]、[illegible]、小西照人、[illegible]、吉松[illegible]、野口富三[illegible]、杉田好次郎、赤岡[illegible]、定則、[illegible]、吉川平次郎、[illegible]、細川國之助、[illegible]、路右近通、吉山[illegible]、元[illegible]、李成三、田子[illegible]、[illegible]

晴一時曇

▼京城今朝氣溫 [illegible]

大	風	[illegible]

雷擊隊を混入して警戒せんと計りたる事發覺し二十二日廣州搜索隊の手に逮捕せられたり

[illegible]一軍選擧は黃金町電車通りに第三車選擧は芳山町を經て先着せる人の車、第二車…葬場通用門と新道の間に、第三車…選擧は式場入口と通用門の間に在るべく右第一選擧に就古岳中尉(三名)細田左代吉、北村くま、岸本龜三郎 上田民藏、鍾路門、譚山寛…

おとぎばなし

今度は敗けぬぞ
…龜に負けた兎の敵討…
八島柳堂

歩みの遲い龜と、驅ッコをして敗けた兎は、皆さんに合はす顔がない』と云つて、穴の中に入つた切り餌を拾ふ時の外決して出ませんでした。お友達の鹿や狐が、心配して『おい、兎さん、そんなに穴の中ばかりに引込んで居たつて仕方がない、病氣にでもなつてはいけないから、すこしは出て來ては何うだね』と親切に訪ねて呉れましたが、それでも兎は剛頑顔を見せませんでした。處が或日、山登りをした二人の子供が大きな聲を張り上げて、

ヘモシ〳〵龜よ、龜さんよ、世界の中で、お前ほど、歩みの遲いものはない、何して其樣に遲いのか。
何んと仰やるうさぎさん、そんならお前と駈比べ、向ふの小山のふもと迄、何方が先に駈け着くか。
どんなに龜が急いでも、何うせ晩迄かゝるだろ、此處等でちよつと一眠、グウ〳〵〳〵グウ、

と唄ひました。これを聞き付けた兎は、穴から首を出して『そこだ〳〵、油斷をして眠つた時に敗たのだ、あゝ殘念な事をしたものだ、その上唱歌に迄作られて唄はれるとは情ない、是れは一つ敵討をしなければならない』と決心しました。さうして、海岸に出て岩に腰をかけ龜の海から上つて來るのを待つて居ましたが龜は何日迄經つても上つて來ないので、兎は悲しくなつて、シク〳〵泣き出しました。その內に泣き疲れて其處へ眠つて終ひました。先日から此樣子を天から眺めて居らつしやつたお月樣は『何だ兎のやつ又眠つて居る、一つ私が驚かせてやらう』と、仰つて天からぬけ降りて『兎よ、お前は性懲りもなく、よく眠る奴ちや』とお叱りになると

兎は吃驚して眼を覺まし自分の決心が鈍い事に氣が付くと『もう私は生きて居ても甲斐がありません』と云つて海に身を投げて死なうとしました。お月樣は之れを見て可哀そうに思ひ『もう死ぬには及ばぬ、心さへ改むればよいのぢや、では龜を呼び寄せて進ぜるから敵討をするが好い』と仰やつたかと思ふと、もう其處には龜がちやんと海から上つて居ました。『やあ、龜さんお珍らしう、何うです、もう一度驅ッこをしませう、這ん度は決して敗る樣な事はしない』と兎は頭に鉢卷をすると、龜も立ち上り驅ッこを始めました。固より足の早い兎の事ですから忽ち龜に勝つて向ふの小山の上で萬歳々々、そこで兎はお月樣に頼んで兎の勝つた唱歌を作つて戴きました。さあ皆さん唄つて下さい。

▽兎萬歳の歌▽△

歩みの遲いとおなさつた、かめにおくれた白うさぎ、若し〳〵かめよかめさんよ、おまへは仲々こんがよい、
何うぢや勇氣があるならば、向ふの小山のふもとまで、何ちらが早いか驅くらべ。
夫はよからう、うさぎさん、這度は油斷をなさらなよ、ピヨンピヨン〳〵ピヨン〳〵、
油斷をせずにやすまずに、驅けたうさぎは、もう疾くに、小山のうへにかけのぼり、萬歳、萬歳、ばん〳〵ざい。

◎土匪の如き過激派 (二)
哈爾賓に於て 志岐兵站監談

我軍歸還と解氷期
舒上の理由によつても先づ武市附近は最も危險なる地方と見ねばならぬのに近來日本軍の一部歸還するる樣になつた爲め從前に比し其の勢力は若干減退したと同時に今年は氣温が非常に高く那々解氷の期も近づいたのは彼等過激派の運動に容易なるを得せしむるもので彼等は愛に運動を開始し蠢動の期に向つて來たのである、で十七日に堀少佐の一個大隊が剿討の目的を以て武市を渡し東北行し十七日の敵なる敵即ち蜂起したる過激派と衝

三面包圍の攻擊
し…にて美事に擊退勝利の榮譽は荷負ふたもの、大隊長以下四十餘名の傷者を出したのである、一旦敗退したる過激軍は日ならずして勢力を挽回し總て其の數は五六千と注せらるゝに至つたものだから同大隊は一時背進する事とした之と同時に尤も

注目に値するのは
前述西部西伯利のエニセイ河の上地方である、此處も彼等の巢窟として以て重要視された處であるが近は以聞する處によると西伯利鐵道の兩側で種々の計畫は企られて居る模樣である殊に鐵道南部の地方では

火藥の製造とか
何とかを隨分盛んにやつてゐると云ふ事である彼の武市附近の戰爭と相前後し、カンスク、クラスノヤルスク兩地間の鐵道は無殘過ぎの要も所となつて目下イルクツクオムスク間は交通杜絕と云ふ事を以聞した此のクラスノヤルスクには目下我が軍の駐屯するもの無くチエック軍で其の隊長は佛國士官じあつたが前述の通り此の地方

殆んど全部が例の
過激派の手に落ちて居るのである…は過軍の巢窟地帶になつてるから記念日をと云ふ主旨の下に頭を擡げ促し虛に乘じて襲來し或は此事なしとも保し難いと思ふが而し此とても一時の現象に止つて長く彼等の跋扈を許す可もあるまいと思ふ

◎隱元豆の榮枯
今では慘めなもの 盛衰(故障百出して)
昨秋白豆(隱元豆)の收穫出廻りを見たるより本年一月末迄に於る清津港に於ける同品の出廻り高は約二十萬石に達し同期間內地へ向け移出せるもの十八萬九千九百四十四石に及び之が積取は定期船の外にては不可能なるより臨時船の雇航するもの十二月十三隻一月中六隻を算せり而して相場は當初は十八九圓なりしも漸次昂騰し十二月中旬には二十八九圓迄に昇へしに下旬白豆輸出禁止說にて暴落し其後更に

◇米國より買注文なき爲◇ 從來不況に陷り現在にては相場は立たず取引も皆無の姿なり之が爲め蒙れる損害は多大にして神戶大商人に賣込みたる品にして期限內に送致せしものに對しては大なる害情なかりしも中流以下の商人に對しては之れが爲め故障百出し

◇爲替と渡航券を生ぜし爲◇ に金融業者の警戒嚴しく資金流通の荷爲替すら前渡額の七八掛しか貸出さゞる狀態にして當地方商人は前年市價暴騰に鑑み何れも多少思惑買を爲さざるなり今後同業者の上に

金融に餘程の苦心
を要すべく又生產者も中止思惑的に手放さゞりしもの及び多少資力ありて賣り惜みがさるものは勢く困窮せる爲め今後白豆の耕作は著しき減退を見るに至らん(清津)

◎北朝鮮の大利源
大規模の造林と千町歩の新水田

咸鏡北道の森林の
有望なるは一般の認むる所にして其地味と云ひ氣候と云ひ將た又森林面積の廣大なる朝鮮に於て最も卓越せる森林地帶となるべき運命を有し凡つ時勢は將來益々木材の需要を多からしむる故森林の保護植栽は忽にすべからず而して本年度より本府事業として富寧茂山の三郡に跨り

二萬五千町步の
面積へ植栽する豫定なるが該事業は五箇年計畫にて今春より着手する筈なるが又道廳に於ても鏡城附近の

森林一萬町步に
植栽を行ふ計畫なり更に目下總督府へ申請中なる中村組の二萬五千町步住友の二萬町步も許可あり次第事業を開始すべく故に本道林業は實現するを得ん(清津)

咸北國境穩城郡
今後(從多郡ならん)
鍾城附近は一面の平野にして若し之れに豆滿江の水を引いて灌漑せば廣大なる面積を有する水田を拓き得べきを以て從來之が計畫をなせし事ありしも北鮮状況に至らざりしが現今の穀價昂騰狀況に鑑み同地方人は

水利組合を設置
し道廳援助の下に之れを實施する事になりたるが其の區域は邑を中心とする地帶にして約一千町步の水田を得べく經費は反當り約四圓の見當なるが

成功の曉は米の
供給上一進步を開くべく同時に之れが副機となり到る處に此の種の計畫を見道民食糧の自作自給を

◎朝鮮輕鐵の新計畫
蔚山線、鳥致院線の起工 大邱安東(慶北)及び水原驪州間
黃海道地方は沙里院海州間の線路も決定せり

東京に於ける朝鮮輕鐵株式會社總會に列席して大邱に歸りたる鈴木同社取締役人は語る、會社に於て決定したる事項、新計畫を聞くに左の如し

◆拂込と增資 第四回拂込は總會に於て決定し廿五日株主へ通告したるが金額は七十五萬圓にして之を以て三百萬圓全額拂込となり次いで來る增資問題は總督府豫算に(輕鐵補給金豫算)關係するを以て當局の許可を得ざれば決定し難きものにして早晚實現さる可き事實なり而して七十五萬圓の拂込金は朝鮮銀行並に百三十銀行の借入金を返濟すべきものにして尙外に五十萬圓の現金有り蔚山線及び鳥致院線の建設費の一部に當て不足額は借入金に依りて支辨し增資を待つて返却する事となる可し

◆蔚山線と鳥致院線 は愈六月末頃に起工するに決定し蔚山線は(佛國寺より蔚山を經て東萊に至る)佛國寺及び東萊の双方より一時に起工し本年內に何れか一方の一部開業を見る可く又

◆鳥致院線 は(鳥致院淸州間十三哩)も殆ど同時に起工して是又年內に營業開始の見込なりと而して邱安輕鐵期成會までも起して

◆大邱安東線 即ち慶北(安東より而陽に結付くべき線)は重役會に於て決定せられ直ちに許可申請を爲す可く同時に

◆水原驪州間 沙里院海州間、東萊釜山間の各線も同樣決定したるを以て共に許可申請を爲し許可の指令を俟つて起工すべく又邱浦間線路の改良を要し今上半期中にはカーブ及び勾配の多所を改正す(約二十哩)を三十磅軌條に改正す

船…鎭南浦
次第に活氣付く
結氷期流氷の爲め久しく汽船の出入を見ざりし鎭南浦港も本年は殊の外暖氣の爲め流氷已に解け初め入航は廿七日の新光丸を初め三菱、中村組、外各會社船は三月四五日より續々入港の入電あり南浦一帶は大に活氣付き來れり

◎浦鹽渡航者
朝鮮人約一千人
例年結氷期中は浦鹽渡航者少きが常なるに本年は昨冬に引繼ぎ相變らず多くして一月より二月中旬迄に浦鹽警察署に於て旅券を下附せるもの內地人四十三人朝鮮人九百六十九人の多數に上り尙ほ遞信地よりは郵便たる物を小包便にて送附する等北鮮地方の浦鹽渡航熱は中々に盛んなるものあるが而も此等渡航者は大部分商用を帶たるものにして勞働者は比較的少しと(清津)

◎烏蘇里の土産話
古稀に近き日本人大工の生神樣 馬賊を征服したる日本の娘子軍
北鮮部隊から編成せられたる南烏蘇里派遣隊が南部烏蘇里の各地に駐屯せらるゝてから同地方の秩序は保たれて平穩になつた所から內地人は同地方に入込む事になつたが最近同地から歸來した人の話に依ると南部烏蘇里中に都市とも言ふべきはポセツト灣附近のノウキエフスコエ(煙秋)スラウヤンカ、バラバモなどで其中ノウキエフスコエには目下

日本人が十三名
居住して居る其の內大工職荒木熊太郎と言ふのは明治十八年より今日まで三十五箇年同地に居住し當年五十八歲の老人で今日ではノウキエフスコエの神樣とまで露國人や支那人乃至朝鮮人から言はれて居る最近に於ては寫眞師も二名居住して相當繁昌して居る南部烏蘇里居留邦人中目立つて見ゆるは

例の娘子軍である
本年一月二日零下四十何度と云ふ凛烈なる寒威をも物ともせず羅南から遙々南部烏蘇里に遠征してゐるのであるが今後日を追ひ月を重ぬると共に押入は益入込み來るは必定の事であらう

所が面白いのは
此の方面を往來する馬賊連が此の日本娘子軍に歸服して唯一人として訪問せぬ者はないと言ふ事である

專ら派遣隊の用達
は雜貨大商店支店一あるのみで商人として同地に入込んで居るのを專ら派遣隊の用達を爲し傍ら地方人の便利を圖つて居る一體此の地方の露支鮮人の購買力は盛んにして今後交通機關の完備する時となつたなら商取引は

大に盛況になる
と思はるゝが我が當局に於て此處に注目し海路の交通を完からしめなば大いに我が商權を發展せしめ得ると思はる(清津)

◎露國汽船を買て
朝鮮に轉籍する時 登錄の手續に就て
露國汽船を購入して朝鮮に轉籍せんとする時は船舶國籍證書を出願し許可證を要し該許可證なくば我が遞信當局に於て登錄を許さざりし爲め折角購入したる船舶も其を輸入し廻漕する能はず延ては種々の問題を惹起したるが過般露國政府は船舶の海外移輸をも解除したる結果朝鮮へ轉籍せんとする時は許可證を要せざる事となれり然れ共登錄の際は後日該轉籍船舶に關し問題を惹起したる場合は一切の責任を登錄者に於て負ふ旨認めある證書を徵せしむべしと(清津)

◎輕鐵拂込(大邱)
朝鮮輕鐵の第四回拂込は二月三十五日を以て株主に對し通知を發したるが拂込金額は一株に付き金十二圓五十錢拂込期日は三月廿五日より同三十一日迄とし延滯の場合は定款第七條に依り金百圓に付一日四錢の延滯利息を付すべしと

◎慶北の朝鮮人數(大邱)
慶北道內朝鮮人戶數を聞くに昨年末現在の戶數は卅八萬二百九十八戶にして人口百九十九萬一千六百七十九人なるが之れを府郡島別に示せば左の如し

府郡	戶數	人口
大邱	六、七五六	三〇、一八七
達城	二四、六四九	一二三、三六五
軍威	一〇、六五六	五六、一〇二
義城	二三、〇九〇	一二六、三三三
安東	二五、七二六	一三三、五九七
靑松	一〇、四一四	五一、六六七
英陽	七、五六九	三九、三三六
盈德	一二、三一〇	六三、三九六
迎日	二三、〇一六	一三三、一一五
慶州	三〇、三六六	一五四、七二二
永川	一九、八〇八	一〇〇、三四三
慶山	一四、五三四	七二、三一八
淸道	一六、一二四	八二、九二一
高靈	一〇、二六八	五二、二四五
星州	一五、六〇八	七九、二六五
漆谷	一二、四五四	六三、五五〇
金泉	二三、二九二	一一五、九七五
善山	一一、五九三	六五、七二六
尙州	二六、七八八	一三八、三二二
聞慶	一五、三三九	七八、五一九
醴泉	一五、〇八六	八一、五〇三
榮州	一五、四三六	七六、二三三
奉化	一二、一三〇	六〇、一六三
鬱陵	一、四三六	八、三八八
計	三八〇、二九八	一、九九一、六七九

◎近江屋旅館(鎭山) [illegible]

家畜保險
(二) 畜牛の共濟法 畜牛共濟會立案 目論見書
(一)目的 本共濟は本會所屬組合及び其の所有する畜牛の相互救濟により飼育の安全を期し改良增殖を圖るを以て目的とす

(二)經理 共濟事業は特別の施設なるを以て其料金の如き賃施に依り多少增減の必要あるに依り之を一般會計と分離し特別會計とせり

(三)範圍 共濟に附すべき畜牛の年齡を滿二歲以上十歲以下と制限せり之を共濟の趣旨に基き老齡にして蕃殖力に乏しきもの及び成長期に在りて現狀を以て將來の價格を判定するに困難にして且つ比較的移動多き幼齡のものを除外りせり

(四)種類 共濟料共濟の種類を分ちて普通共濟及び簡易共濟の二種とし期間は何れも一年とす

商況

東京株式特電 (日後場引値)
銘柄	後場	前場
東株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東汽新	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
富士紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
寶田石油	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿鐵取引	[illegible]	[illegible]
新高製糖	[illegible]	[illegible]
北海炭	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
帝麻	[illegible]	[illegible]

東京現株中値 (廿六日中値)
[illegible]

東京期米特電
[illegible]

大阪株式特電
二十六日後場 三七、八〇 三六、五一 三六、五一

大阪三品特電
三九二、六〇 三四九、〇〇

大阪期米特電
[illegible]

下關期米特電
[illegible]

兵庫期米特電
[illegible]

雜報

◎製粉市況波靜
[illegible]

◎分蜜益々軟弱
[illegible]

◎雜鑛市況閑散
[illegible]

◎銑鐵市場閑散
[illegible]

◎罐洗の其後
[illegible]

京城正米
[illegible]

仁川正米
[illegible]

仁川期米
三月一日前場 (益々不勢)
第一節各地新甫不學なるに向け…新甫三十五圓七十錢と三十錢下稍に生じ…

下關相場
[illegible]

大阪新甫三十五圓錢
[illegible]

市場雜觀
[illegible]

▲肥料の現況
[illegible]

北濱たより
◎煉株反撥す
[illegible]

▲明煉株
[illegible]

仁川取引所 一日の五月限
[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

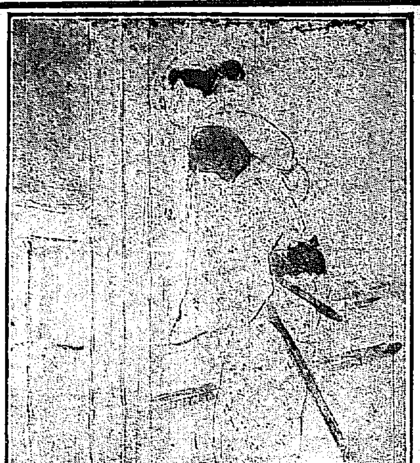
米穀肥料 倉庫業

毛谷村六助 卅六番角力

百五十八席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

飯田覺兵衛は虎之助に對ひ何うか家來にしてくれと强ての頼みに、虎『能くぞ申した、如何にも虎之助の家來にいたして遣はす』隨分清正は膽玉の太い人で、漸う十二の歲に此の覺兵衛を家來にいたしました、此者が加藤家家來の最初で、第二が井上大九郎でございますが大九郎も一旦主從の約束いたしましたこと故、飽迄も虎之助に仕へて立身出世をしようといふ考へ、乃で飯田覺兵衛とも初對面の挨拶をいたしまして、猶今日圖らず途中で決鬪をいたした木村又藏もこと物語りまして此者は母全快次第參る筈であるから、三人の者はお互ひに仲睦しくして加藤家に仕へ奉公を大切にいたさうと茲に兩人は約しまして、木村又藏の來るのを今や遲しと相待つて居りまする、處が又藏はその後何とも申して參りません、といふは何分母は大病でございまして、兼て虎之助より貰ひ受けたる金子を以て漸う子孕の野猿を一疋求めまして之を服ませました處、一時は危き命を取止めて何うやら全快いたしましたが、何を云ふにも年を老つて居りますから、翌年の春になつて又々病氣再發いたしました、流石の又藏も今は一生懸命になつて種々手當をいたしましたが、遂に養生叶はず其年の六月中旬に復らぬ旅に赴きました、又藏の歎き一方ならず『あゝ情ないことをした、俺も加藤の家來でありながら母にそれだけの樂もさせず、死なしたは如何にも殘念だ』と暫し愁ひに沈みましたが、然し幾ら歎いても詮ないこと、據ろなく野邊の送りをいたしました、昔想うなると獨身でございますが、兎も角も一七日忌の濟むまでは宅に引籠つて佛事を營んで居りました、愈初七日も濟んで加藤の許へ行かうと思つて居りますと、何となく長濱の町が騷々しく人々が東西に奔走する樣子、何事ならんと聞いて見ると、此度織田信長公が德川家康公と合して江州姉川に於て朝倉淺井の兩勢を引受けて戰爭をするといふので、既に信長公は御出馬に相成つたとのこと、當國の城主木下藤吉郎は信長公の家來であるから必ず打つて出るに相違無い、然すれば主人といたした虎之助殿も御出陣になる、コリヤ愡うして居られぬ、然し是から姉川へ乘出さうといふのに、着て出る鎧も無いといふ處から、早速飛び出して町へ參りますると、一軒の道具屋がありました、表に、何品によらず御不用の品は値段宜しく買受け申候と記してございますから

又『コリヤ亭主』亭『ヘエ〳〵何ぞ御用でございますか』又『貴樣の宅は道具屋だな』亭『左樣でございます』又『何品によらず御不用の品は値段宜しく買受け申候と記してあるが、俺は此の町外れに住居をして居る者だが、此度都合によつて宅を取片附けんければならぬ、就ては疊みから建具或は諸道具殘らず買つてくれんか』亭『ヘエ〳〵、それは何うも有難うございます、成るだけ張込んで頂戴いたしませう』又『それでは俺と一緒に來てくれ』亭『畏りました』早速道具屋は金子を頸に掛け荷車を曳いて又藏の背後に尾いて參りますと又『さア亭主此方へ入つてくれ』道具屋の亭主が見ると、宛然非人小屋同樣の家でございます 亭『何だこんな家か、何うせ碌な物はあるまい』と入つて見ると推量の如く疊と云つたら破れ疊が敷詰めてございます、建具と云つても碌な物は一枚も篏まつて居ない、加之に一ツ竈に缺損た土瓶が据てありまして、火鉢は毀れかゝつて居る、障子と云つたら蛸障子と云つて骨の無いやつでございます、四邊を見廻して流石の道具屋も呆氣に取られました、



朝鮮名産 松の實羊羹 發賣元 明治屋

近頃よく賣れます キヤラメル は滋養豐富血液增進のライオンキヤラメルで有ます試に召上て御覧遊ばせ 京城本町四丁目 發賣元 德永商店 電話壹二七三番

◎流行性感冒と婦人の死亡率

……のだと申しますがそれも一原因で……意する丈の事です……夫が外で働く……て冷る場合の多い男よりも內に居る婦人に死亡數の多いのは身體……

◇此度の感冒は……

◇病氣を忍耐して努め……これが餘病の原因となり、左……れが鬱積して……位のものですから年長の人や男子……立場からは病人と見らべき狀態で……あると云つて居ります或は病氣を……しても小家に歸るなと云ふやうに……言はれて見れば何うし……は幼少から女の道と云ふ……德によ……ます、これ……旅が偶々今度の流……習が無いのでせうが……

九星問答

(問)すべての人を一白から九紫までの九種に區別して其人の運命が相同じきものでせうか伺ひます(何度生)

(答)無論同樣なことは有りません其の生れ年と生れ月と生れた日生れた時によつて異なることは勿論でありますが、何うも驗めして見るのに此九星に據つて別けた九種の性質が同じ星の者同志に共通してゐる事は爭はれぬ事實の樣でありまして之は他日機を見て申し上げませうが隨つて其の司配すべき運命も十中の七八まで殆ど同一である事は…何うも試して行けば行く程益々符合して行くのであります……併し先日も申し上げたる如く九星といふものは元用兵の陳法から起つたもので後代之に理窟をつけて賣卜者流が運命の判斷に用ゆる樣になつたのでありますから餘り大人君子の氣にする程の者でもありますまい(係)

◎警務署增築(長春)

警務署にては從來土地の發展に連れ人口激增し事務の繁多を加へ現廳舍のみにては少からず狹隘を感じつゝありしが昨年戎國の出兵に伴ない邦人の北滿西伯利に發展するもの著しくなりたると共に長春を經て來往する內外人非常に多く猶一層事務の繁劇を加へ益々廳舍の不便を感ずるに至りしより愈本年解氷と同時に之が增築をなすに決し過般來假廳舍の物色中なりしが今回前取引所を以て一時之れに充つる事とし既に署長の檢分も終りたるが工事は約五箇月間の豫定にて全部竣成新廳舍に復歸するに至るは本年末ならんと云ふ

皮膚科專門 外科 京城太平通一丁目 扇田醫院 電話二三五八番

三月三日（舊二月二日）

月曜▲きのえさる●六白▲暗劍殺西北

上巳節句

▼六白▲熟考に熟考を要すべき日
▼七赤▲親みのある何んとなく人なつかしき日なり、よろづ吉なり
▼八白▲花やかなる美事なる日なり起業移轉棟上婚禮等すべて吉也
▼九紫▲氣に入らぬ事のある日也
▼一白▲花も實もある結構な日なり或は意外の喜び事あるや知れず
▼二黑▲陰德あれば陽報必ず伴なふべき日なり但し徒に散財を戒む
▼三碧▲決して短氣を起す事勿れ
▼四綠▲儲物を入れらる、如き日
▼五黃▲纏りの好き日にて和合の象あり日起業移轉婚禮陳上等吉日

●くせ毛縮毛は唯だ一瓶でなほる

藤本藥學士が責任を以て其有効を確證せり

如何に容貌が綺麗でも髮が縮れ、縮毛でバサ〳〵してゐては到底美人とは申されません。くせ毛縮れ毛でお困りの方は効驗の最も强い、而も無害にして髮結さんの秘密に使つてゐるくせ毛直しテンダーをつけると即座に奇麗になり髮が艶々丈けなすお黑髮となり、加之頭垢、脫け毛を防ぎ永久に美髮を保つに非常な効能のある美髮料であります

定價壹圓、五十錢、三十錢、送料八錢　用デンダー香油五十錢　全國の化粧品店藥店に在り　本舖 東京銀座弓町 振替東京二一二三番 中南定太郎　大阪安土町堺筋 振替大阪三三四四番 中南定太郎

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番

內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す

醫學博士 古城憲治　金澤醫學士 打田義芳

痔疾專門 京城明治町二丁目（本町より入る中央） 京城久枝肛門病院 電話二一〇二番 內地旅行中の處歸城診療に從事す

ネッスルミルクフード

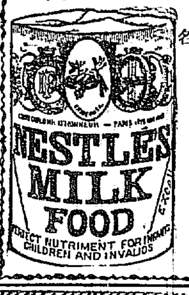
小兒、虛弱者及老衰者用强壯營養物肺病患者の福音!!醫師諸氏の御推薦を蒙れり

茲許郵便切手金十錢巾封入候間ネッスルミルクフード見本包御送付相成度候

左記申込書御切抜の上御姓名御記入金拾錢郵券（送料包裝費として）御封入被成下候はゞ見本包壹個御送附申上可く候

住所 氏名 年月日

橫濱郵便局私書函第三〇四號 ネッスル及アングロスヰス煉乳會社行



銘酒

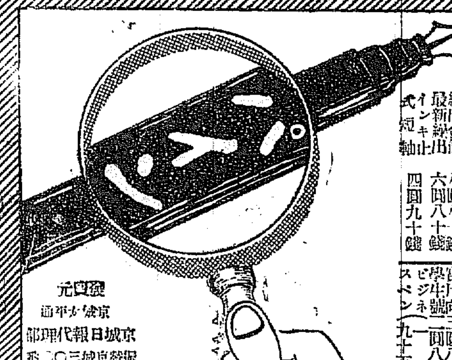
金釜 銀釜 菊正宗 楠正宗

特約店 三巳京城支店 電話三七八五〇三番

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番 振替貯金京城一一九四三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有



金ペンの氣持よく走る心地と体裁の良い萬年筆はパイン萬年筆に限る

純川金筆 最新純川 インキ止式短軸 八圓八十錢 六圓八十錢 四圓九十錢　實用向 三圓八十錢 學生號 二圓八十錢 ビジネスペン 一圓九十五錢

發賣元 京城本町通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

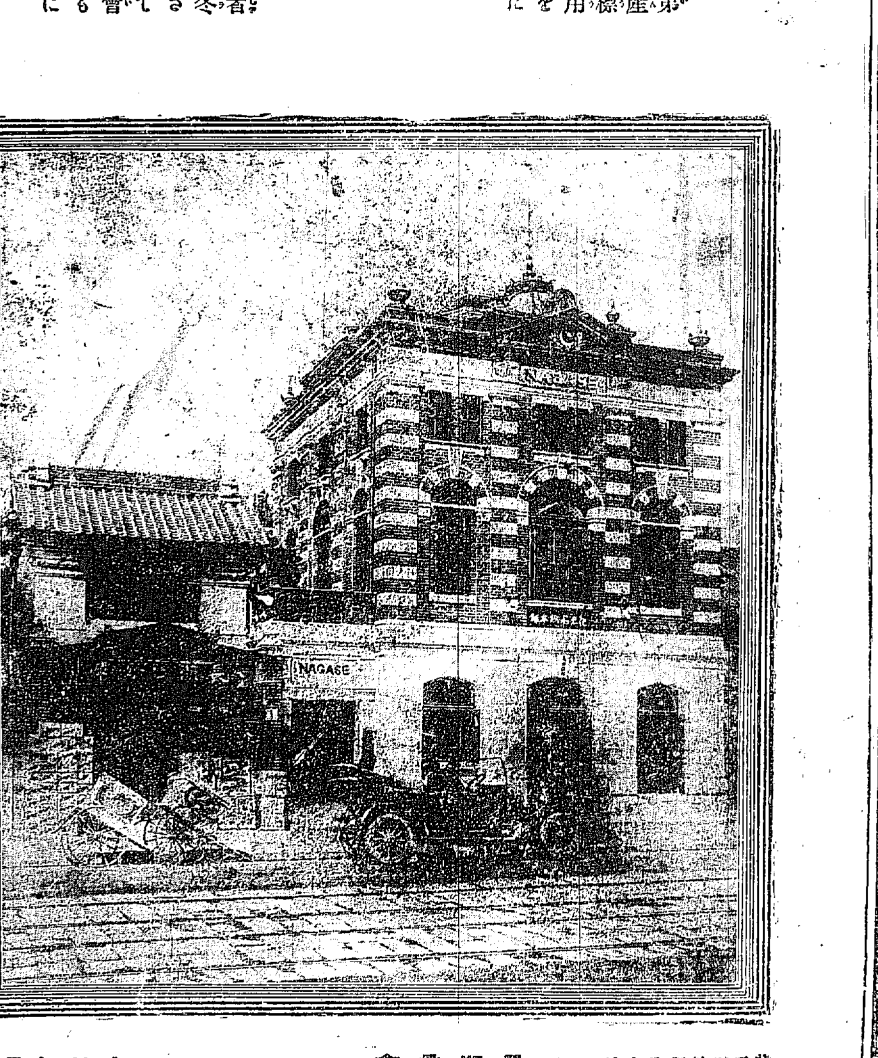
休戰と商戰

歐亞の天地を震撼せしめし有史以來の大戰亂も漸く平和の曙光閃きて玆に休戰第一年を迎ふるに至りしは誠に慶賀の至りに堪へません、顧れば我花王石鹼は國產石鹼の鼻祖として去る明治二十三年以來歲を閱する正に三十有餘、品質本位を標榜して終始一貫常に變らず、最善の品質と拔群の廉價とを發揮して各位の御愛用を蒙つて居りましたが前後五箇年に涉る世界的變局は遂に我花王石鹼にも影響を來し多大の苦痛と打擊とを及ぼしましたが、猶能く當初以來の信條にして主義たりし品質本位

花王石鹼

の品質を保ちつゝ此苦境と戰ひ年と共に販額の增大と贏ち得し事は一つに愛用者各位の深甚なる御同情の賜物に外ならずと只管感謝して居る次第です。而も舊冬突如として起りし平和の氣雲は促進的に漲りて日ならず講和の一大福音は齎らされんとして居ります隨つて今後に於ける我花王石鹼は戰前同樣世界的商品として海の內外を問はず常に外國品と爭はねばならぬ事になります。即ち本舖は此機會に於て更に一層の精勵と熱誠とを以て其品質の向上改善に努むると共に飽く迄も花王石鹼の品質本位にして廉價の良品たる所以を發揮して愛用者各位の御恩顧に報ひ傍ら邦家の進展隆昌に盡す覺悟て御座います。何卒將來に向つても

倍舊の御愛顧を切に御願ひ致します



花王石鹼製造本舖 東京 長瀨商會 ◎ 關西代理店 大阪 大崎組商會

名譽金牌

最上 醬油

醸造元 日本醬油株式會社 仁川港

京城日報

米國の輿論と講和の失敗

在北京　吐峰生

◇果然國際聯盟は列強政治家の不滿足を買ひ、肝腎の米國すら輿論の大勢は聯盟反對に傾き候。英文明、獨譯文明、御追從文明に囚はれつゝある日本の識者論客先生方も、今少し自己反省を試みざるべからず候

◇米國輿論の反對は、國際聯盟は米國の主權を侵犯し米國の憲法に抵觸するを理由と致し候、而して民（即ちウイルソン）が如何に調印するも、斯くの如き重大案件は米國の一市民の頭上に……するも、決して効力あるものにあらずと切言して、大統領の頭上に三斗の冷水を浴せ候

◇而かも斯くの如き反對論は獨り共和黨に限らず、ウイルソン氏の生れ故郷たる民主黨に於て之を極言するは興味ある現象に候。ウ氏は米國上院に向つて無線電信を送り、已の對米並外交問題の討議の延期を乞へるに拘らず、上院は遠慮なく國際聯盟の審議を開始し、議員各自大膽なる批評を公にせるは、以て米國々論の趨向を窺知するに若かざる次第に候

◇ウ氏は多分今明日中米國に著し、三月四日正に式開かるべき新議會に臨みて教書を發表し、暫時議會に對する政務を決裁して再び巴里に赴く筈に候へ共、氏の立場は頗る困難に陷るべく、國際聯盟の前途亦容易に逆賭し難きもの之れ有り候

◇尤も國際聯盟は聯盟委員會の立案に關し、未だ本會議の正式承認を經たるものにあらず、隨つてウ氏が之を提出して上院の批准を求むる迄に至らざるは勿論也。而も米國の輿論はウ氏を牽制して其の調印を躊躇せしめ、若くは之に對して重要なる修正を要求し、然らずんば米國上院に於て他日其の批准を拒絕し、又は一定の意見を附して條件附承認を敢てするか、兩者其の一に出づるを疑はず候。吾人は國際聯盟に對する米國輿論の趨向を注視して深甚の興味を感ぜざる能はず候

◇英佛兩國の輿論が比較的沈默を守り、伊太利新聞紙が極力反對を表示せるは、何れも機略を藏する結果に候。佛國首相クレマンソー氏が國際聯盟の討論よりも、獨逸の再興復活に痛心し、更に苛酷の休戰條件を提出せるは、佛國の立場として既に無理からぬ次第に候、英米二國が對敵講和を忘れ、哲學的討論に時日を空費し、世界の利益を壟斷して徒らに自家の計を謀つるにのみ腐心せるは、如何に辯解するも得手勝手の振舞ひに候

◇クレマンソー氏が、何故無政府黨員の兇手に會したるか、バイエルン首相が何故暗殺せられたるか。此の二大謎を解する者にあらずんば講和の前途を談ずるに足らず

◇若し獨逸の立場より觀んか、ク氏の鐵血政略は世界の何者よりも脅威也。これク氏の身邊漸く危險を加へ來れる所以也。若しバイエルン首相アイスネルの反獨政策を根絕せんか、南部獨逸の統一上至大の便益あるは明白也。これ彼が兇手に斃れたる所以也。而して是等は講和會議の産物のみ哲學上の問題是非に耽れる當然の歸報のみ。吾人は特にクレマンソー氏に對し同情の念禁じ能はず候

◇吾人は巴里會議を概觀して、彼等が今日迄何を爲したるかを反問せざるを得ず。彼等は決裂せる獨逸に統一と復活との時間を與へ、聯合與國の結合に一大龜裂を與ふべく、二箇月の時日を空費したるものに候。斯くの如くにして可なる敵國は益其の便益を加ふべく、聯合國の前途愈暗澹と分裂に進まんのみ。講和會議の將來眞に寒心に堪へず

◇吾人は國際聯盟の規約に對し、日本帝國の主張を貫徹すべきもの多々あると同時に、獨逸の將來に對し濫りに無批判的輕蔑を加ふべからざるを信じ候。識者は國政局の要項を洞觀して大いに國論を喚起し、幹へ入れる講和會議の反省を促す事を必要に候（二月廿四日）

財界の新舊人（47）

韓相龍君（下）

西海生

漢城銀行專務取締役韓相龍君か、韓相龍君の漢城銀行か云はる、位、君は漢城銀行に立脚し、財界に活動してゐる、預金貸出共に一千萬圓を算せんとする漢銀の發展は、殆んど君一個の方寸から出てゐるらしい。近年破竹の勢ひを以て各地に手を延ばすので、寧ろ延ばし過ぎはせぬかと云ふ人もあるが、君は尙ほ足らずとして擴張策を講じつゝあるやうだ。

▲李完用伯や韓圭卨男の如き有力な關係は後援となつてゐるし、頭は理解力に富み、對人術は巧、人を外らさぬ手腕あり、精力は旺盛、それで縱横に奔走活動を續ける爲め、君は一面から出過ぎるとか、少しく高ぶるとか云はれてゐる。君に人を卑下する如き考へはないのであらうが、ごうも餘りに鮮かに鮮人實業家の群の間にその行動が目立つため、出る釘は打たるゝ式に色々の世評を買ふのであらう、然も左樣な方面の世評も氣にして居るか否か、各方面の融和や逡巡には中々よく努めてゐる、忙しい身體であり乍ら、餘程巧に時間の利用をする人と見ゆる。

▲君は餘りに順調に餘りに得意なるため、聊か調子に乘り過ぎてゐると云ふ人もある、現に去年の夏頃に銀行土曜半休問題を京城組合銀行に提議し、物論を惹起したのは誰れあらう君であつた、唯その提案の良否を別とし、君が左樣な改革案を提げて、京城の銀行團に臨み、堂々たる內地人銀行家の連中を率ゐんとした勇氣は既に角壯である。案そのものは世論の反對に逢つて、結局お流れになつたが、時に左樣な飛び離れた態を演ずるため、君の出所進退がごうかすると問題の種となるのであるまいか。

▲君に感ずべきは品行の方正な點である、鮮人の實業家中、妾を有せざるは君のみであらうと云ふ、職業柄粹界に出入はしても殆んど浮名が立たぬ、それと同時に若くば當然の話だが、して令閨に對しては極めて善良な夫君らしい、相當に家產は積んでゐるが、よく散ずる人だと云はれてゐる、乘馬、玉突、圍碁、酒すべて一通りは通じ、漢城銀行では何れの方面に於ても專務取締役の資格ありと目されてゐる。

▲君は早朝の數時間を必ず讀書修養に費やす事としてゐる、これ君が各方面に於て漸次進境を示した所以、と同時に尙ほ將來延びる人だらうと記者の信ずる所以である、人の噂をして決して他人の惡口を曰はぬ、そこにも君の處生上の用意を見る、要するに朝鮮人實業家の代表者として不足のない人物と云つてよからう。

景田

句と辯（上）

鳥堂

詩學研究の貴下

此間中本紙上に於て、吾等の上に示されたる熱誠と努力に對して深厚の謝意を表します。私の『俳句の趨向に就て』は吾等の俳句を主張する一部の序論で、僅かに新傾俳句の輪廓を描いたに過ぎません、主張の根本要求に就ては近日稿を繼ぎ、更に御指教を得たいと考へてゐます。たゞ一言して置きたいのは、吾等の俳句の主張と申すも、實は私の一存に止まるもので、同人合議の結果でもなければ、同人の意見を代表するものでもありません。私の主張と一致してゐるにしても、私の主張が同人の上に及んだのではありません。同人の飛ツ汁が同人の上に及んだ……はしてゐる句である。少し離れた序に少しく此句の解を試みる。

此句は大まかにして泥みなく、椿の……を持つた作者の品性を遺憾なく現はしてゐる。……のさく寺の夜の趣きにふさはしい姿を持ち、而して温かい淋しい味……

一、季題を通じて流れる作者の生活

二、一個の最單位の概念表示が相關して一個の趣味中心を作る

三、從來五七五または七七と限定されてあつたものを包含する俳句の調（二と三は相俟つ必然的天的關係を持つてゐる）

……と考へることは不合理とは思はれない。一體俳句の根本性と云ふものは何であるかといふことは詳細に別に論じる積りでゐるが、次の二三の要件は、之を俳句の種に列することの當然を判斷する者である。

椿の咲いてたのを話して上げればよかつたに、提灯が消へさうで夫……

小僧さんの好きなお寺の椿の咲いてたのを話して上げれば……提灯が消へさうで夫……ですから。小僧さんが何かを、提灯で送つて歸つて來て、伏戶に入つて……

南よりかへつた椿の感興の話題の海也　不考郞

六七年振に釜山に行つて、東萊の溫泉につかつて、宿の椿も見て來たであらう不考郞が、同時に海も六七年振で見たといふ此間の話を聞いた丈けで、此句のよい處も悪い處も同情……心持かする。感興が云ひ過ぎだと思はれないでもないが、海の話題は不考郞には感覺でもまだ云ひ足せないほど、心理るものであつたとはらう。南よりかへつたのは事實だが、椿を持つて歸つて來たやうに見せかけてゐる處には不眞實がある。句に同情はするが聊か物足りなく思ふのは之れが爲めであらう。

此句も『椿の下で分れて、二の概念表示となり、南の椿と話題の海とが趣味中心を吾等に送る二要素となつてゐる。矢張り俳句の趣に屬するとして吾等には何の不思議もない。

この句の次に浮勢樓の題の句と共に、譯の判らない句に取出される……（阿岐良）

五頭

劍花坊

『假令ざりけり／＼』と題を出した……川柳の型……

……といふ物……とも思ふ。

能・諸抄

◇線と色彩と名畫と◇

本紙定價　一箇月金七十五錢……
廣告料金　……
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　……　振替京城……

▲北鮮商業銀行の設立を……

▲歐洲戰亂の影響に由る……

大阪海上火災保險株式會社……
京城代理店　藤富國太郎商店　京城本町三丁目　電話……　振替京城一七七八番

謹告

一弊店特約の米國産アイデアル印無種乾葡萄之儀昨冬到着可致豫定之處大凶作并に禁輸等の關係にて不計も延着致居候漸く少數（契約高の四分一）到着仕候間何卒最寄食料品店にて御買上げ願上候先は延着申譯を兼ね入荷御案內旁謹告仕候

味の素　赤玉ポートワイン　蜂印葡萄酒　代理店　京城南大門市場　辻本商店

ポケット

鶯春亭（田村西男）　黃金村（渡邊霞亭）　……の春雨　一寸法師　蒲田の娘　人形節（遲塚麗水）　二人の母（北島春石）　貯金人形（光橋青砂）　左手の村長　後者の家（岡本綺堂）　……
東京本鄕　博文館

來ル三日故李太王殿下國葬ニ付敬弔ノ意ヲ表スル爲メ當日臨時休業仕候
大正八年三月
株式會社朝鮮銀行
株式會社朝鮮殖産銀行
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行
株式會社漢城銀行
株式會社京城銀行
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行

種苗　農具　蠶具　肥料
京城本町三丁目　京城勸農園　御用達　電話七〇四番　振替口座京城五五六番

京城古市町　電話二七四六　烟草　硝子工場

朝鮮總督府勸業模範場　……三月一日ヨリ三日間……

購買公告　京城學校組合

大阪屋號　世界大戰史　鑛山と鑛業法　日本國家觀　最新刊

實用全書　五冊合本完成　日用書翰文　日用辭典　式辭と挨拶　諸願屆書式　草書字引　五冊合本特價　有教社

京城日報編　最新書式大全

新案獨學　イロハ辭典付　鮮語自在
發行所　京城日報代理部
取次販賣所　△大阪屋號　△岩松堂　△日韓書房

感冒に
咽喉の保護に調節に
身体の保温に強壯に
森永ミルクキャラメル

新演藝　三月號　玄文社

國葬と總督諭告

三日故李太王殿下國葬執行に就き長谷川總督は一日左の諭告を發したり(號外再錄)

故大勳位李太王國葬ノ儀將ニ三日ヲ以テ執行セラレムトス庶民當ニ謹愼以テ哀悼ノ至情ヲ表スヘク苟モ喧噪ニ亘ルカ如キ行動ハ秋毫モ之レナカラムコトニ意ヲ須ヒサル可ラス然ルニ此ノ盛儀ヲ行ハレムトスルニ方リ無稽ノ流言蜚語ヲ放チ徒ニ人心ヲ蠱惑セシメムトシ時ニ喧擾ニ亘ルノ徒輩アルヲ見ルハ寔ニ遺憾ニ堪ヘス庶民宜シク互ニ相虔ミ相誡メ以テ敬弔ノ誠意ヲ致スコトニ萬遺漏無カランコトヲ期スヘシ若シ夫レ輕擧妄動虛說浮言ヲ捏造シ人心ヲ搖亂セシムルカ如キ言動ヲ敢テスルモノアルニ於テハ本總督ハ職權ヲ以テ嚴重處分スヘク寸毫モ假借スル所ナカルヘシ

右諭告ス

大正八年三月一日

朝鮮總督伯爵 長谷川好道

東郷中將の入城 (向つて右より)渡邊評定官、東郷中將、重村機關大佐=一日南大門驛にて

貴族院本會議 (一日)

第四十一回帝國議會

午前十時開會、德川議長病氣全快登院議長席に着き日程に入り後藤男外三議員請暇の件を許可し次に大正八年總豫算追加案(第二號)審査期限を定むる件を附議高橋藏相高等教育機關擴張內容に就き說明し次で石黑忠悳男教育資金御下賜の經過並に御沙汰書を拜せず難有次第なりと述ぶるや中橋文相は御下賜金の經過並に沙汰の內容に就き說明す石黑男は政府の說明に依り益々大御心の難有を感佩す而して政府は若し御下賜金なかりし節は計畫を如何にする心算なりやと問ふ(以下夕刊へ)(東京特電)

◇園侯馬耳塞到著

日本郵船本社著電に據れば西園寺侯は二十七日馬耳塞に到著せられ一行頗る元氣にて一日夕刻巴里に向け出發二日朝巴里到著の筈なりと(東京特電)

◇過激派僧正射殺

過激派は一月中十一名の大僧正を射殺したる旨公表せり(紐育特電)

◇督軍和議干涉端緒

南方代表は和平會議にて陝西問題に就き陝西督軍陳樹藩氏を交迭せしむ可く强硬の態度にて要求せるより馮總統は之れを段祺瑞氏に諮りたるに段氏は反對の意見を述べ更に北方督軍に傳ひ陳樹藩、劉存厚、張敬堯氏等の地位に變化無きやう督軍より中央政府に主張せん事を求めたり近く督軍側より何等かの徐總統の許に來る可く北方軍の和平會議干涉の端緒は或は之れより開かる可し(北京電報)

◇支那交通部員

吉會線踏査の支那交通部員一行三十名は一日平安丸にて來清同夜は清津市民の歡迎會に臨み二日新田總督府技師一行と共に會寧に向ひ出發の豫定なり(清津特電)

◎極東貨幣流通に關する會議

オムスクの全露政府にては極東貨幣流通問題に關する會議を開くため給養大臣の命によりその代表者は今回州執政官秘書長その他を招致し刻下の財政經濟問題を討議する爲め來る二十日を期して極東執政官民政部の建物內に於て集合を催し(大臣は代理者を派す)極東に於ける過激派紙幣短期國庫債券の流通問題小額貨幣の不足國庫債券額面五百留千留のもの新規發行地金需給方法金の自由流通の止手形法等の諸問題に就て審議し同時に國家の財政に影響を及ぼす經濟の節約方法諸種の國稅並に間接稅專賣法等に就ても研究すべくその席上にはハルビン、ハバロフスク商業會議所員ニコリスク、スリスキー商工業代表者等の臨席を許しその他にも尙ほ多くの出席者ある筈なりと(浦鹽特電)

◎極東地方都邑聯合銀行計畫

最近沿海州並に後貝加爾州內都市代表者の會議はその決議を浦鹽役所に通知し來りたる內なるが其の主旨は極東の地方都邑聯合銀行とも稱すべき銀行團體を組織して地方金融關係の需要を滿足せしめ長期又は短期の金融貸付を行ひ又は地方の生產力を增加せしめてその繁榮策を講ぜしめんとするにあり資本金として二百萬留を計上しその割當額は普通郡の自治團體よりは一千留をその他の郡若くは縣州自治團體よりはその歲入額の三分を徵するとし目下浦鹽市よりは如何の金額を應ずるか其決定額を照會中也(東京特電)

◎獨逸の內亂とス團活動

獨逸國內其後の狀勢を見るにスパルタカス團はエッセンに三千ドゥッセルドルフに一萬五千及外に二千の襲擊隊を有しハンボルンにては大砲其他多數の武器を擁し二十一日にはボットロップを占領し政府軍の通路を遮斷せり彼等初め獨逸等の社會主義化を標榜して

▲社會黨多數派 勞働者の離間を試みたるも成功せざりし以て更に軍國主義及エーベル、シャイデマン政府の顚覆西部獨逸共和國の建設救濟事業の實施罷工中社會黨以外の新聞の發行停止勞働者の武裝租稅納付の中止、即時上石炭の輸送禁止等を宣言し武力を以て港口を封鎖し進んで各工業の一般的罷工の强制に努めつゝあるも鑛山勞働者の九割は政府に加擔し同地社會黨多數派は强硬罷工反對の決議を爲し勞兵會中にも勞働開始論多く且過激派勞働者に對し罷工中の生活費の給與を拒絕したるもラデックの退派以來

▲露國側の資金 絕えたる來も實行不能となりしを以て同派勞働者中に就職を主張するもの加せりと在ムエンステル政府軍の司令官は目下過激派の兵力大にし騷擾の地域も擴大せるを以て十分の增援を待て行動を起すべく其罷工反對鑛山勞働者は自ら武裝して過激派に當りつゝあるを以て勞働全部の鎭定を見るも遠きに非るべしと云ふ廿一日バーリヤ總理アースネルは政治狂中尉アルコバレー伯爵の爲め暗殺せられ同議會議中にも暗殺者現はれアウエル、ロース、ハウプテル等二三大臣を要擊なり二十一日の國民會議に於てシャイデマンは國民中に暗殺により政爭を解決せんとするもの生ぜば是れ全國家の破滅を意味す又リュール地方の騷動にして鎭壓し得されば新獨逸聯邦の基礎は覆へるに至るべしと述べ滿場の贊同を得たり(東京)

◎京城水道の現狀と將來

京城水道に就ては京畿道水道當局に於ても常に多大の努力と配慮とを拂ひ之れが完全を期しつゝあるが如何せん通水

▲當時の豫定 給水人口十二萬二千五百人一人一日當り給水量制限四立方呎即ち一日の給水能力四十九萬立方呎に過ぎず而して京城の發展に伴ひ水道需要は急激に增加し到底當初の設計にては之が需要に應ずる能はざるは言ふ迄もなく當局にては爾來數次の改良工事を施し僅に其の急を補ひ來りたるが一小部分の應急工事にては到底完全なる結果を見る能はず使用水量の激增に當りては一時給水中止の餘儀なきに至れるが今大正七年七月の調査によれば

▲京城水道に 於て計量に依らざる專用栓三千八百五十九個、私設共同栓一千四百九十七個、共用栓一千四百十八個、官設共用栓四百十七個、公設消火栓三百五十七個、私設消火栓二百六十六個即ち栓數合計七千八百十四個にして之に對する配水總量一ヶ年一億五千五百三十八萬九千四百三十一立方呎目下の京城水道施設能力としては寧ろ其の成績佳良なり殊に昨年以來給水鐵管內冬季結氷を防ぐ爲め埋設鐵管の位置を從來より一尺深く埋設し水道設備の部分的改修を爲し以て

▲現在の機能 を完全に發揮せしむべく常に配慮しつゝあり其の結果幸ひにして昨冬は水道故障も殆んど減少したるが之れ全く一面に於て水道使用者側に於ても出來得る限り注意を拂ひし結果と言はざるべからず而も既報の如く京城水道使用水量は年々著しく增加し昨今日々の給水量は京城水道纛島水源地よりする四十萬立方呎と仁川水道鷺梁津水源地よりする十五六萬立方呎即ち合計約五十六萬立方呎餘の給水を爲しつゝあり之を前年度の給水量に比較する時は六百餘立方呎の增加にして年々是と略同樣なる使用

▲水量を增加 しつゝある傾向を示せり即ち現狀の儘推移せば軈て一般市民に對し給水する能はざる事となり延いて都市衞生防火其他多方面への支障を來すべきは火を睹るより明かなり乃ち既報の如く總督府に於ても大正八年度豫算に水道擴張工事費として總額百十七萬八千八百五十四圓を計上し以て京城平壤兩水道の擴張工事を爲すべき計畫を立て之を四箇年の繼續事業とせり而して京城水道に關する經費は右の內約百萬圓を以て現在仁川水道鷺梁津水源地約二十八萬立方呎の擴張を試むべく八年度の割當額用萬圓を算せる次第なり然れども右は大正八年度より四箇年の繼續事業たる

▲關係上工事 竣成して通水を見るは大正十三年の初めとなるべく而も右二十八萬立方呎の擴張水量中より八萬立方呎程度は仁川に給水せざるべからざる所より京城水道に事實補給せらるべきは二十萬立方呎にして結局京城水道は二十萬立方呎の給水能力を增進する事と爲る而も將來四個年間に於ける京城都市の發展人口の增殖は當然水道使用量の增加を來すべく二十萬立方呎の給水能力增加が果して四箇年後の京城市民に對し幾何の使用水量增加を齎すべきや俄に逆睹すべからず茲に於てか京城水道根本的問題の解決は

▲纛島水源地 の大擴張に在る事何人と雖も疑ひを容れざる所なりと雖も是れには約三百萬餘圓の工事費を要し其の財源には當局も大いに顧慮せざるを得ざる現下の經濟狀態より推せば叙上水道根本問題の解決を告ぐるに至るは依然市民相互の使用水量大節減に俟つより他に採るべき方法の存せざるを奈何せんと京畿道水道當局は語り居れり

◎米價尙は下らん

思惑者の打擊は好戒鑑

朝鮮銀行某當局者談

外米輸入の前途變態と朝鮮米の引緩みとは內地米界の缺材料となり數日の間に期正米共

△三四圓方の 暴落を見たるが四圍の狀勢と米價の極端に上られたる點より觀察すれば恐らく尙ほ低落すべきものと觀察せらる當れりとせん要するに最近米價の急騰は需給關係の不均衡を招し一部少數の大手筋並に思惑者の買ひ煽りに原因せしものにて多數國民は極めて少數者の利得のために高價なる米を常食せざるべからざる地位にありたり而して朝鮮にては一層此の風の大なりし觀なからずと雖も鮮銀にては此の狀勢を轉換せんため過般の金融緩和を當行にて行ひ更に他行に之れを求めたる譯なるがその結果

△鮮米の崩落 を見たるは所期の事なり然も尙ほ與回なる取引並に移出以外の米穀に對する資金の融通以外は之をなさしめず一方米價の低落と共に米穀金融は一層警戒を必要とする場合に立至りしを以て勢ひの趨く所米價は尙ほ下落の趨勢にありと稱して可ならん或は此の際米穀商間に破綻を生ずるものも出づべく從來買ひ煽りを事としたる輩は巨額の損失を蒙ふの餘儀なきものあるべきがそれらは自ら

△蒔きたる種 を自ら刈らざるべからざる立場に至りしものといふべく擬に食料必要品を投機視するもの、好戒鑑と云ふも不可なきなり

大阪財界便り

內地商況は海外の不振を移して惡化し內地の不勢は再轉して海外市場を不安に導き內外の商勢は互に因果關係を繰返して益々沈滯の度を强めつゝあり、即ち是を

▲海外市場 に見れば(一)米の船腹ダンピングにより運賃の低落底止する處を知らず(二)米國を始め中立國に於ける物價の低落も先行見當つかず(三)物資の不足は事實なれど或種の物資に至りては相當のストックあり此際新規の買附をすれば手持品の値段を切崩す懼れあり(四)歐米濠洲南米等到る處流行性感冒再び猖獗を極め之が爲購買力を減殺せる向き少からざると(五)歐米品の供給見越により海外市場は依然不振の域を脫せざるが休戰以前仕入れたるストックにも自ら制限あり且歐洲諸國が秩序を回復して海外市場に發展するには相當の日子を要すべきを以て早晚米日を始め其他の方面に缺乏せる物資の供給を仰がねばならぬ

▲底値覗ひ 然るに依然として海外商談の進捗せざるのみか萎微として振はざる所以のものは買人の頭に運賃の底を摑まう、相場の底を摑まうとする期待あるを以て容易に買氣を漏らさないのである、海外の人氣が一に底値覗ひの態度に移らず內地に於ける製造家、商人等は持久力なく且一般に先安を見越して安値にて賣り抜けんとしつゝあれば一度海外より惡材料到來せんか遽に狼狽して動もすれば投賣りの態度に出でんとしつゝあるを以て更に海外市場に惡影響を傳へ海外の不況は再び醸して內地市場を脅かす事となる殊に銀塊の暴落は支那爲替の暴騰を惹起し我が最大の市場たる對支貿易を不振ならしめて居る、更に內地

▲商勢惡化 の狀態を一層せんか、商品界のバロメーターたる銅價は最近激落に激落を重ね遂に卅五圓と戰前相場を現はし四十八圓を平均値とすれば其三割を切り込んでゐる有樣であるから各鑛山も自ら休鑛の已むなきに至るべく其他地金類も同樣の慘況を辿り錢、藥品、染料、織物、羅紗紙等綿絲米を除いては殆ど總ての商品はヂリ安若くは不味の商狀を呈して容易に伸びずして只不安裡に彷徨してゐるの觀がある、殊に銀行の警戒は思惑筋を排除せる爲先約以外の資金融通も跡を絕ち取引は更に局限されて活氣を殺がれつゝあるが如し(大阪)

◎加藤社長歸城期

京中の本社々長加藤房藏氏は夫人同伴二日午後九時十分南大門驛著列車にて歸城す可し

人事消息

▲工藤英一氏(平南道長官) 一日夕入城

▲中聰明氏(黃海道長官) 同天眞樓へ

▲佐々木藤太郎氏(慶南道長官) 同上

▲張憲植氏(忠北道長官) 同上

▲井戶川三十九氏(城大?) 同巴城館へ

▲岡村友右松氏(朝鮮製糖株式會社專務役) 同上

▲池田男作氏(內務省技師) 同上

▲阿部釿吉氏(內務省監察官) 同上

▲河野秀男氏(內務省會計檢查官) 同上

▲武藤一次郎氏(內務省書記官) 同上

▲渡邊廉吉氏(行政裁判所評定官) 同上山本へ

▲田子勝彌氏(農商務省技師) 同上

▲濱名元良氏 一日朝退城

鳥瞰錄

英國で近頃面白い問題が惹起して居ると云つた處で大した問題でもないが▲イヤ大せぬ問題でもないと云ふのは戰後に於ける婦人の處置と人口繁殖策である▲英國では戰爭の爲に寡婦となつた婦人が百萬近くも居る▲其の中で一人の子供もない寡婦が約四十萬と唱へられて居るが此の多數の寡婦を再婚せしめて戰爭の爲に失つた人口の恢復を計らねばならぬ▲之れが問題だが現行の法律では離婚が難かしいので近頃有力者に由つて離婚法改正會と云ふものを組織した▲而して法律の研究と共に新運動を起して居るが此の會は單に戰爭寡婦の處分許りではない▲家庭の不和の爲に離婚も出來ず夫婦別居して居る婦人をも再婚せしめ子種を得やうとするものである▲其れも其の筈現に別居して居る夫婦の數が驚く勿れ五十萬とはチト話が大きい樣だが事實だ▲成る程此の多數の寡婦さんと不幸な婦人を再婚せしめて子を生ましめたなら忽ち人口も增加し戰爭の損害も取り返す事が出來やう▲處が或一部では之れに反對して離婚は神の誓ひに背くものであるから非れは不可ないと云ふ氣勢も上つて居る▲一にも二にも女權擴張女の天下たらんとするお國柄寡婦さん達も無言では居るまいとは餘計なお世話▲流行性感冒は大分妙な處へも使はれて居るから世の中は調法なものだ▲或るしみつたれが宴會に出席を促さる・と實は流行性感冒で・と巧に逃る話は聞いて居るが▲之れも其の一つで或家に米屋がつかり勘定取に行くと奧さんが家內中すつかり感冒でやられましたからとて巧く米屋を擊退した▲米屋許りでなく他の御用聞きも此の奧の手で皆辭退せられた相な▲處が其の奧さんの手には金指輪が二つ光つて居たとは皮肉だと或米屋が話して居た

◎雄基最近狀況

雄基に於ける近狀は目下內地人七……年賑盛を呈しつゝあり現在の金融は組合一箇所の機關にては到底賑……額は寄附に依る雄基船溜所新設……の物價は目今白米升二十六七錢石……

◎普通選擧運動大會の盛況

……御部文を朗讀し次に普通選擧……期する旨の決議文を可決し帝國……の萬歲を三唱し一隊五十人位に分……三唱し再び日比谷公園に來り散會……

○救世軍特別集會 午前十時半聖別會午後……司令官フレンチ大佐

○本願寺(南山町) 午後七時半より……

酸アルカリ製造法

東京高等工業學校教授理學士 鈴木達治氏校閲

長野縣立工業學校教諭 白土萬次郎氏著

◎菊判上製全一冊 ◎定價貳圓八拾錢 ◎送料金拾貳錢 ◎稀なる新裝幀

我國現代の化學工業の大進步は實に驚くべく從來の製造法にては遠く是等の需要に應ずる能はず惟ふに諸化學工業の母工業たる酸・アルカリ工業は今や本邦に於て新に革新的時代に入らんとす。本書は斯の如き時勢の研究に基き理論を經とし實際を緯として現はれたる酸及びアルカリの最新製造法を詳述し餘す所なし。故に本書は啻に應用化學を專攻する學生諸氏の參考書として最も適切なるのみならず酸・アルカリ從業者の諸氏にとりて絕好の指導者たり敢へて薦む。

最新刊

商業數學

工學博士 國澤新兵衞氏序

高橋本戊子郎氏著

菊判上製本全一冊 定價金貳圓八拾錢 送料金拾貳錢 雅麗なる新裝幀

時代の新要求に應ぜん爲めに斯學革新の先驅者として現れたるは本著也。著者の說く所は全く舊來の商業算術の舊套を破り、利用の便なる理論の解折を以て商業取引上の基本數理を論じ簡明なる公式による應用の法を傳へ諸表の使用による簡明なる算定の裁定・利廻計算等は本書の特色にして一讀直ちに諒解すべし。諸單位及公式―世界各國の度量衡貨幣は勿論物理化學の有ゆる單位及計算公式。―利息―複利・支那朗日年均法・交互計算等の商業計算の樣式及作成方法・外國爲替裁定・定額年金に關する計算及用例。(以上內容の大綱)

最新刊

工業數學

工學士 深井宗吉氏著

菊判全壹冊 定價金參圓 送料拾六錢

鑛業法講話

大阪鑛務署長 淺野哲助氏著

四六判定價壹圓八拾錢 送料金八錢

多年鑛業行政の實務に與りし著者は最もよく我國鑛業家の諸等の不備の爲に損失の如何に大なるかを知れり之が爲に自然に鑛務處理の進捗を妨げ從て或は權利を得るに其の選延を免かれず斯して鑛業志望者の企業心を阻み延いて我國鑛業の發達を妨げし事は實に想像の外にあり。本書は著者が二十年來の實務上の經驗を基礎として我鑛業家及土地所有者の爲に業法全般の智識を平易簡明に述べ殊に周到なる用意を以て出願人の氣付かぬ不備の點までも懇說したるものにして全八篇緒言・出願・鑛業權・鑛業權・鑛業權の消滅・裁決及行政救濟・罰則・砂鑛法大意―を章・章節に細分し項中に鑛業法條文及細則を掲げ附錄として每條中の諸樣式を網羅し更に卷末に條文索引を付して實務家の爲に殘る所なく其凡てを說盡したり

發行所 東京日本橋區大傳馬町貳丁目 振替東京壹貳壹四六番 內田老鶴圃

初日より滿員 午後八時限り立錐の餘地なし

大阪每日新聞 菊地幽芳氏作 女の生命 ○當館にて封切り

本日は晝夜開演御早來願上候

特別興行 黃金館

朝鮮總督府中央試驗所 長壽不老 試驗濟 補血强壯

高麗特製紅蔘エキス

製造元 廣岡正隆堂 人蔘部 電話二〇六一番

發賣元 株式會社 明治屋京城支店 京城本町一丁目 電話二壹二番

大卸元 福榮商會 釜山埋立新町 電話八九八番

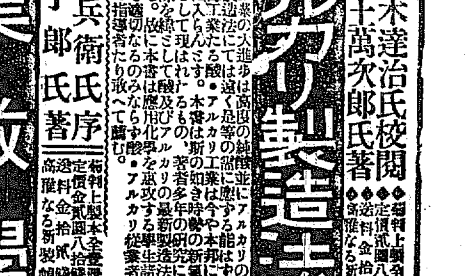
眞鍮品鑄造

喋番。取手。落類其他何デモ

御下命通リ迅速安價ニ出來マス

京城本町一丁目 金物商 佐野彥藏商店 眞鍮品鑄造工場

時計 金貴屬 指輪 眼鏡商



地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目 銀行前 三浦天龍堂 電話一〇二〇番 京城三〇四

朝鮮に於ける保險料は全部朝鮮本產銀行に預入れ、以て地方產業の開發に貢獻す 殖產銀行本支店に於て便宜當生命保險料を受入るゝ事に協定す

常磐生命保險會社 本社 東京丸の內 朝鮮支部 大連 代理店 全國各地に有

京日案內 普通七回前金一圓前金(一拾錢増)

▲代書業日收二圓位男女誰にも出來る賃地就職手引中込次第無料送呈 東京本所區役所前 代書業講習會

○社員募集 記者及男女集金人 南山町一丁目上る 朝鮮及滿洲社

○店員一名至急入用 年齡二十七八歲位迄の者但市內に保證人を要す 本町參丁目(電二四九三番)大和館

◎桐材木賣却 約三萬才 但し立木の儘 元山本町三丁目 藤井商店

電話鑛物 二○三番 吾妻へ

下宿屋至急讓渡し 御希望の御方は左記日の出町松風軒に問合せられたし詳細は面談の上

事務員採用 地方郵便業務に經驗ある二十歲以上素養ある溫厚の者自筆履歷書添左記へ御送付ありたし 京城日報社內 大島

小犬 名稱エス、毛色茶、白、尾捲上げ 右紛失見當りの御方は下名迄御一報被下度切々御願申候 永樂町二丁目二五五 井上

女子募集 年齡廿五歲以上給料廿五圓以上但商業に經驗ある者希望者は直接本社へ來談ありたし 黃金町 シンガーミシン會社

◎有給外務社員募集 希望者は至急履歷書添へ申込あれ 京城大和町一ノ四六電話二八三七 日本徵兵保險株式會社京城支部

乳母入用 左記の所に御來談を乞ふ 仁川府寺町妙覺寺前 工藤淳司

恩給年金 低利立替 御不在中御出ものゝ 京城吉野町入口左側 電一五一六番 山口屋

◎鮮語科 ◎英語科 新學期三ヶ月修業各級補缺募集外人二名出席 南大門通漢城銀行向 京城青年會

電話と勸業債券買入 京城光化門通一九〇 電話一四四七番 坂本

年金恩給 低利即時御立替 利息前引なし最長期限五年分迄 京城永樂町 商品陳列館前下角 江州屋本店

[illegible]して[illegible]なる唯一の良港なれば昨年の貿易の如き約五百萬圓に近からんとし[illegible]たるが將來斯くの如き[illegible]なるものこそすべく來る解氷期を待ち起工さるゝものは工費約六千圓市況は[illegible]を有し居れば[illegible]

[illegible]堂にて普選運動大會開催されたるが好天氣の事とて選舉運動者學生物人等を合せ約千人に達し黑須龍太郎氏開會の辭を述べ五箇條の[illegible]て午後一時三十分宮城前に向ひ大行進を爲し同所にて　聖上陛下の萬歲を三唱し更に帝國議會に到り[illegible]

社寺と例會（日曜）

◇淨土宗開教院（本町三）午前十時より『十善の男■』大町[illegible]　◇京城日本基督教會（長谷川町）午前十一時『■■の愛』秋月致氏午後七時『罪界の新展望』同氏　[illegible]提唱起心錄及碧巖錄午後二時より[illegible]日曜學校安藤先生吉波先生のお話あり

◎靜かな艦上の春
◇鞍馬に古川參謀長と語る◇

二十八日の午後五時霜が拭ふが如く晴れ渡ると夕陽に映えた漣面は銀色に輝いた、軍艦鞍馬の艦上は今し戰鬪配員の點檢が終つて之から一時間の特科教練に移ると云ふ處、事業服の水兵が大きなロープを曳いて

▽艦橋に　出る之も作業の一つ、短柄の二流のフライキを輕そうに携へて惶だしくトップに昇り行くのは信號兵、緩やかに翻る艦旗の下艦甲板の廣場にはサークルを造つた一團の軍樂隊が劉喨たる春の調べを吹奏する斯くして午後五時の艦内は流石に嚴めしき色が漂ふてゐる

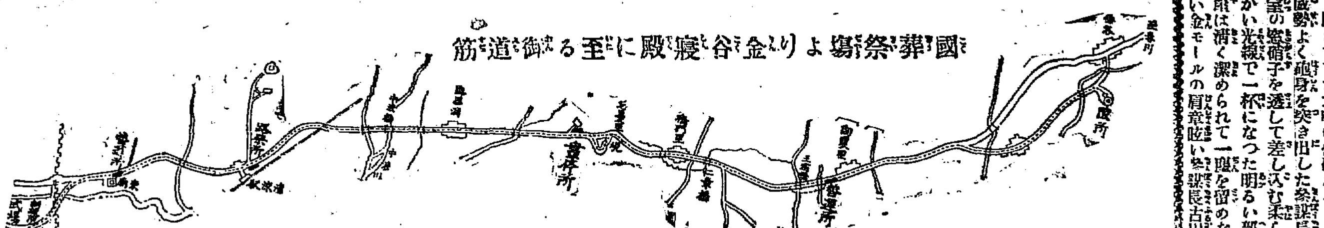
働き立てた六吋の側砲がヌッと威勢よく砲身を突き出した參謀長室の窓硝子を透して差し込む柔らかい光線で一杯になつた明るい部屋は清く潔められて一塵を留めない金モールの肩章眩い參謀長古川大佐は記者と卓を挾んで快活に語る『艦の年齡は八年を以て第一期とされて居る四十年の建造に係る我が鞍馬は之から云ふと

▽第二期　に這入る譯だが國民は之からドシ〳〵新式軍艦を建造する事に努力して貰はねばならぬ何！國際聯盟なんて云つた處で我が帝國が殖民政策より善き發展を遂行し我が商權の擴大を企圖する限り帝國軍艦は一隻でもより多く持つてゐなければ駄目だ、軍艦を常に戰鬪の上から許り觀てはならぬ日常絶えず行はるゝ世界の商戰に於て軍艦一隻の存否が如何に甚大の影響を齎らすかは今更云ふ迄もない處であらう、植民地と云つた處で朝鮮邊では別に

▽海軍を　有難くも思はないが試みに海外發展の同胞を其の異國の港灣に訪ふと彼等の歡待は實に其極に達して男も女も舉つて歡迎の誠を致すのである何にしても帝國軍艦が其地に碇泊して居る間は急に我が同胞の權利が強くなると云ふのだから我が艦影を見て狂喜するのも無理はない』

司令官の用事が濟む間の待合せも早三十分を過ぎた從卒の差出すコーヒーを啜り乍ら古川參謀長の鷹揚な感想を聽きながら煙を吹かす艦上軍樂の妙なる響は何時しか消えて窓外舷側を洗ふ小波の音さへない今しも指揮官會議に列席の伊吹艦長がカーテンを覗くさもう

▽司令官　は容易に手が放せなくなる時計はもう六時を過ぎた折よく艦載ランチが終航に出ると云ふのに促されて思ひ切つて艦梯を下る時夕陽は早八尾の沖に傾いて水平線上最後の名殘を留めて居る春の夕暮は靜かである



國葬祭場より金谷寢殿に至る御道筋

◎背廣服の輕裝で
東郷吉太郎中將の京城入り

海軍將官會議員東郷吉太郎中將は行政裁判評定官渡邊暢吉氏及び重村機關大佐と共に國葬參列の爲め一日午後九時十分南大門驛着列車にて入城した。

◆滿員　の一等室に中將は鳥打帽に脊廣服の瀟洒な姿で窓際に凭れ渡邊評定官、重村大佐も同じく鳥打帽に脊廣の輕裝で中將と同席して居たが車中往訪の記者に對し中將は半白の美髯を蓄へたる口元に

◆微笑　を含み『如何です。國葬で君方も忙しいでせう』と頗る優しい。それから『京城には大分人が入り込んだでせう』と訊ね更に『京城の氣候は如何ですね』と疊みかけ『漢江の氷もすつかり解けました』と答ふれば『それは

◆意外　だそんなに暖かいですか』と喜び『やれやれ安心だ、隨分嚇されちやつて防寒の用意をして來て居たのに……』と今度は渡邊評定官が口を容れる。重村機關大佐が『大助かりだ。然しそれは變調でせう』と反問する。すると中將は『さうかも知れない何でも僕は

◆去年　の冬迄朝鮮に居たので朝鮮通を振り廻して渡邊さんを嚇したが悉皆違つて御氣の毒だ自惚れるもんぢやないな』など他愛ない會話で一同他愛なく喜ぶその中にも中將は時々默り込んで

◆瘦形　の沈痛な顏を窓に押し付けて瞑想する。南大門驛に着する頃から三人は茄い外套を羽織り中將は鼠色の中折帽に袋入りの軍刀を杖づき渡邊評定官は山高帽、重村大佐は

◆茶色　のソフト帽に早變りして南大門驛に下車し夫々見送りを受けて中將及び重村大佐は巴城館へ、渡邊評定官は山本旅館に向つたが同列車では會計檢査院第一部長河野義一同書記官武藤榮次郎諸氏も入城した

◎國歌『君が代』
林廣守氏作曲
陸海軍から小學校へ

古歌『君が代』が如何にして國歌に採用されたか又其樂譜は何人の手になつたものであらうかと云ふ事に就ては世間に其眞相を知る者が少い依つて此處に諸家の說や文部省で取調べた者に依て其大略を述べて見ようと思ふ

▲『君が代』を國歌　としたのは故野津將軍だと云ふ者もあれば故大山元帥だと云ふ說もあつて何れが眞相であるかは未だに明かになつて居ないのであるが兎も角明治の初年海軍の顧問英人フェートン氏の作曲に依て海軍で之を吹奏した事だけは事實であつた併し乍ら此樂譜は餘り善く出來て居なかつたので其後明治十三年六月に至り海軍省から改めて國歌の作曲方を宮內省雅樂寮へ願出でた其處で雅樂寮では數人に作曲せしめ之を海軍省へ送付すると海軍省では其中から林廣守の作曲を採用し獨人フランツ・エッケルトをして之に和聲を作らしめた其から更に全く我國民の唱歌に適する樣にして同年十一月三日の天長節に初めて之れを吹奏したのである

▲是が即ち今日の『君が代』の譜である此時故[illegible]から改めて作曲の由來を明治天皇に奏上し陸海軍其他の場合に於て之れを國歌として用うる事となつた續いて明治二十六年八月十二日の官報で之を小學校の儀式に用うる旨告示したのであるが左に其告示の全文を擧ぐれば

小學校に於て祝日大祭日の儀式を行ふの際唱歌用に供する歌詞竝に樂譜を別冊の通り選定す

君が代（古歌、林廣守作曲）

君が代はちよにやちよにさゞれいしの巖となりてこけのむすまで

といふのである爾來國歌『君が代』は全國上下一般に普及し津々浦々之を唱和せぬ者はない樣になつた

◎世界双六
遞信省で考案

◇世界的智識の普及◇

國際聯盟や國際勞働問題が當■されるやうになつて來た今日我國の一般國民は餘りに世界的智識に乏しい甚だしいのは代議士にさへ

▲外國の地名　を辨へぬ者がある是では五大強國の一として講和後の列國に對抗して行くの覺束ないから此際一般的に世界的智識並に海事思想を普及せしむる方法を講じたいと云ふ主眼から遞信省では理想的世界的双六を考案しようと目下頻りに文殊の智慧を絞つて居るが

▲是に就いて　同省の當局崎瀛理課長は語る『何事につけても機敏な米國では玩具を利用して凡百科學的智識を自然のうちに理解せしめる方法を講じて居るが今度新に世界地圖を利用した双六が發明せられた我國に於ても今更ら日本橋振り出しの京都上りでもあるまいから一つ

▲世界双六　を作り出し例へば倫敦振り出しの橫濱上りとか言ふ風に各國の樞要地を都合好く按排して巴奈馬運河では一泊とかアントワープで引返しとか言ふ具合にし地圖の上には物產だの風俗だの種々必要事項を色美しく現はして世界地理の大勢が娯樂の中に知らず〳〵會得さす一方骰の形を

▲商船や軍艦　などから考案して海事思想の普及を計る樣にし海國男子の意義ある玩具を創始して見たいと考へて目下より研究中であるから何れ出來上つたら大いに社會的に發表しようと思つて居る』云々

◎府民はこんな心得が必要
御葬儀の日

三月三日より同四日に亘る故李太王殿下の御葬儀に際しては一般府民は拜觀其の他に關し左の通り心得べき旨京城府は告示せり

一、御葬儀當日（三月四日）及び御埋柩當日（三月三日）は一般に半旗を掲げ弔意を表すること（半旗とは黑布を纏はす竿球より旗幅の半分丈け下りたる所に國旗を掲ぐるものとす）

二、拜觀者は勅使以■族王族並に靈體に對しては脫帽を正し相當の敬禮を行ふこと

三、保護者なき老幼は拜觀[illegible]上ぐること

（四）二階以上等殿下すべき高所に於て拜觀せざること

五、御道筋及び其の附近は二階物干等に不潔物又は見苦しき物を出さゞること

六、御道筋に面する階上は窓を閉ぢ置くこと

七、當日は早朝より地先道路の掃除を爲し清潔を保つこと

八、活動寫眞の爲めにする撮影は特に許可を得たるものに限るも背面寫眞を撮影せんとする時は一應最寄の憲兵又は警察官に申出て指示を受くること

白妻のかゞみ　ヒストル貴婦鑑
九州放浪[illegible]

（三）

跡に義雄は座に直り、手を拱いて吐息つき、『おうさうぢや、伊氣戸君が來て見たら、却つてそれもよからんと、何か心に打ちうなづき、待つ間ほどなく女房が、新しい迷惑と、思へど追に捨しがたく、蕃の知らせに親友の、伊氣戸も少し迷惑の國より入來れば、女房はくら用の多い其中の、御迷惑をも顧みず、失禮ながら電話にて、事情は大略申せし通り、何卒あなたのお取成、『宜しう頼みます』と言へば此方も打笑ひ、『ハヽヽヽ犬も橫向く痴情の喧嘩、僕もチヨツコン迷惑なれど、都野川君の此頃は、

◆餘り馬力が強　過ぎて、既に睨眠の庭とあれば、一度は下らぬ意見でも、して見んものと思うた故、取敢ず來ましたが、大將は居りますか』『ハイ奥にお待申して居ります、どうぞお通り下さりませ』『それじや失禮致します』と女房諸共打連れて、居間にと通り座に直り、『都野川君だしぬけぢやが、近頃君は、性感冒にでも冒されたか、餘り熱が強過ぎるぢやないか、言ふ迄もなきことながら苟くも、國家の干城たる軍籍に身を置き、加之帝國陸軍小尉の榮職にある君が、泥水稼業の

◆奴隷に等しき　一婦人の情の爲に今の世に珍らしき、操を守るのみならず、君が失敗此方は、失敬ながら家事萬事、悲慘極まる境遇を、悚へ忍んで是れ丈けの、家業に盡す妻君を、何が不足で離別するのぢや、顏でも洗うて眼醒ましたまへ』と、からかはれて都野川は、悚へ乘て聞く銑く、『イヤ伊氣戸君、それは餘り失敬でないか、成る程君の言はるゝのは、一應は尤もなれど、斯う言へば義雄が我田引水の樣なれども、凡そ人は先祖に對し、

◆子無きは不孝　の第一と、古語にも傳へある通り、殊に女大學には、女の七去の其中に、子無きは去るとあることは、君の忠告は感謝するが、聊か心あつてのこと、情婦狂ひも、御承知ならん、僕が今のことばかりは、餘り立入つた干涉は平に御免を蒙る』と、嗣すげなく拒絶る。此方は尙も打笑ひ『アハヽヽヽ、これは飛んでもない、君が始めに前置の、我田引水も甚だしい、成程昔は先祖へ不孝、女の七去も聞いて居るが、そんな古風な煤だらけな言譯を、大正の今日に、持出して此伊氣戸に、干涉の拒絶をするは、能く〳〵

◆君も窮した言譯　子無きは僕も御同樣、否、都野川、伊氣戸ばかりで無い、凡そ洋の東西を問はず、世界には幾らもある、これは天の配劑なれば人力では不可能である、假りに君が妻君を去りて、跡へ情婦を入れたとて、それに子供が出來ると言ふ斷言は出來まいぢやないか、『イヤところが出來るぢや伊氣戸君、既に情婦は懷娠して岩田帶にも近き今日、それでも君は否認するか』『否認はせぬが、懷娠女が子を孕むと言ふ事に就ては、僕も否認は出來ないが、他人の子を我子として認むる事は、なら、罪科も無き女房を、離別するにも及ぶまい』

本社主催長瀧智大師講演會（記事參照）

◎大塊遞相と蘭
‖金先生の前で‖

閣臣を代表して李太王國葬儀參列の爲め渡鮮滯城中の野田大塊大臣は朝鮮ホテルの一室で吟懷を縱にしてゐる一日も午前十一時過ぎ舊知の文人雅客と會して風流に親しんだ席には

▽蘭の名人　金圭鎭竝同先生山縣總監古賀長官其他が居た絹や唐紙へ揮毫を振ひながら大塊大臣は語つた『海岡先生や兒玉子分たる山縣總監の前では特意の蘭を畫くのも心遲れする東京では誰も居ないので自由に大膽に書けるが……』と書き終つた圖に對して雅師海岡先生は三嘆の聲を發した

蘭一莖供へて祝ふ雅師哉

席に居た竹西女史と合作を物しながら他の古賀長官を顧みて『共進會當時の竹西女史に較べると容貌が大分に衰へたから竹西女史を朝鮮一の美人だとも褒められなくなつた……』桑田鏡に越した

▽善良な瞳　が光つた因に二日午後仁川有志の招待に依り仁川港視察の爲め下仁の筈仁川官民は竣功せる閘門式船渠其他を案內すると云へば當日の大塊大臣の吟懷更に新の事と偲ばれる

◇大塊翁の蘭◇

◎滿場の聽衆絕聽す
本社主催長瀧師講演會の盛況

既報の如く本社主催長瀧智大師講演會は一日午後三時より京城日の出小學校講堂に於て開會したるが當日は恰も誂へ向の好天氣なりし事とて聽衆は定刻前より蜂々詰掛け

◆廣き講堂　に溢るゝの盛況を呈したり先づ本社藤村支配人開會の辭を述べ中川多聞氏の所感に次いで長瀧智大師登壇、所謂民本思想乃至過激思想なるものは畢竟虐政に對する反動的の產物にして我國に於ては固より民主或は民本主義なるものあるべき筈なく抑も現在世界の各國は社會あつて始めて成立したる國家なるも斯くては世界は永久に個人的にも國家的にも弱肉強食の生存競爭は益猛烈となるべし然らば神は

◆世界創造　に當り人類をして此慘禍に投ずべく造りたるものなるやこの疑問を生ずるに至る。此事は聖書にも現はれ居らざれども神が世界を造りたる初めに當りては其中心たるものありしなるべく茲に於て人類の最の幸福世界の絕對平和を期待し得べく即ち世界に冠絕せる我國體は他の諸國と其創始を殊にし我國の使命は世界人文の發達に貢獻し正に其中心たるべき大公至大の任務を負へるものなり。彼の一時的反動の所產たる危險思想に對し我國も

◆是に順應　せざるべからずと云ふが如きは自ら侮るの甚だしきものなりとて二時間餘に亘りて滔々熱辯を揮ひ聽衆亦終始熱心に傾聽し最後に『日本帝國萬歲』を三唱して散會したるが尙當日は蓮宗婦人團は懇切に諸般の斡旋を爲し一同に多大の好感を與へたり

◎佛首相輕快

佛國首相クレマンソー氏は此程床上より起き步行を試みたり（巴里電報）

◎八十歲以上の高齡者
東拓の庭で拜觀出來る

國葬當日八十歲以上の高齡者の爲に黃金町東洋拓殖會社の前庭に拜觀場所を設けあるを以て希望者は當日午前八時迄に同所に參集拜觀すべし但し此際は必らず保護者一名付添ふべく病氣又は羸弱者は遠慮すべしと

◎軍人會奉送

京城在鄉軍人分會は國葬當日指定の場所に整列奉送する筈なるが准士官以上の者及び下士以下有勳者にして軍服着用の者は葬場に參入することを得

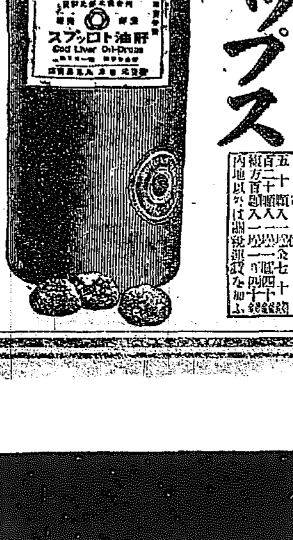
◎肝油ドロップス

美味無臭容易に定量の肝油を食用し得る本邦及英米國政府專賣特許滋養強壯料

河合龜太郎氏創製

肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及可溶性含窒素物を以て成る滋養強壯料也。

複方肝油ドロップス　肝油の半量を蛋白質に換へ更に有機鐵、有機燐及石灰、規那等を含有せしむ。



定價　五十顆入金七十錢　百二十顆入一圓四十錢　複方百顆入一圓四十錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

肝油が一般の虛弱者、腺病者、結核性患者、營養不良に起因する諸病患者、腺病質の兒童等に對し、治病上缺くべからざる滋養劑なるも其特有の臭味甚だ不快にして消化亦困難なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、一顆毎に精製肝油の含有量を正確にし、乳化完全にして消化吸收の最も容易なる、美味無臭の『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、普通の菓子同樣容易に食用し得る事と、酷暑の候と雖も冬季と異らず、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ¥1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ¥1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-Liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, line and quina.

▲如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

一、顏の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザラザラしてゐる所謂腺病性の人
一、身體一般に貧血して居る人
一、是と云ふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て瘦せてゐる人
一、手足が冷て寢られぬといふやうな神經の弱い人
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、筋肉を太らせ無病壯健に元氣よく活動したい人
一、身體一般に脂肪氣少き人
一、顏や手先が滑くしたき人
一、產前產後病後の恢復を計らうとする人
一、發育不良から來れる腺病例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人

酒井醫學博士の實驗的研究に根基せる　◎ミツワ人參錠

主効　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

定價　百錠入五拾錢　五百錠入金貳圓　內地以外は關稅運賃を加ふ

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて滋養藥人參を實驗的に研究し、鎭靜、催眠、利尿、興奮、強壯等の諸作用を有することを證明せり、ミツワ人參錠は同博士の研究を基礎とし、合理的に精製せるものにして、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、等の疾患に發現する諸症狀、即ち精神興奮、精神抑鬱、意志薄弱、讀書不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷等に對して偉效を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、の如き神經系疾患を治し得べく、之を腎臟炎に適用すれば其他の苦惱を除き、分娩前後及び諸種疾患に因る貧血症に榮養不良を回復し、又精力減退即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし意氣を旺盛ならしめ老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

Scientific Research Made

MITSUWA GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .50 500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

◎ミツワ人參錠適應諸症候

一、頭が重く或は痛く頭の內が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて[illegible]なる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、魘されて怖い夢を見たりする人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、些細に怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、神經の衰弱する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へる事の出來ぬ人
一、物の判斷のつかぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り[illegible]の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰痿や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に苦しむ人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、精力を強くしたい人

發賣品目錄御申越次第送呈　ミツワ石鹸本舖　東京日本橋區橘町　丸見屋商店

とよ子 (百廿二)

奇遇（一）

北島春石作　森田久畫

つい二三年前までは、如何に健脚を誇つても、永同から茂朱までは小半日かゝつたが、今は六里の山路も改修されて、乘合自動車の便が開けたから、わづかの時間で自由に往復される。

古瀬信策の案内で、昨日京城を出發した神崎昇一郎は、その夜は永同の赤松旅館に一泊し、翌朝早く例の乘合自動車で茂朱へと打向ふ。

茂朱は郡衙の所在地で、全羅北道内でも屈指の繁華地であるが、それでも日本人の數は老幼を算入して三百とはなかつたが、さすが邑内と呼ばるゝ丈けあつて、鮮人宿で南京虫の來襲を受けるに及ばず、紅葉館と呼ぶ可成大きな日本旅館で暫時休憩することが出來た。そして、そこには龍潭鑛山から出迎へた岸上雅巳が出迎へてゐた。

『岸上君、わざ〳〵こゝまで出迎へてくれたとは氣の毒だつたね。』

と、古瀬から紗からず喜ばれた雅巳は、一種の主從關係にはなつてゐれど、舊友だけに堅苦しく挨拶するまでもなく、

『何有、未だ夜明前に斯波君が知らせてくれたので、直ぐ韓馬に鞭つて鑛山を降りはしたれ、こゝでも自動車とは競爭が覺束ないので、茂朱へ著くまでに二三時間は遅れるかと思つたが、一時へ半時間でも先に乘込め、何うやら歡迎の意が達したのは好い鹽梅でした。』

『そこで、大方の事情は斯波君から聞かれたらうが、今日こゝまで御案内したのは、神崎昇一郎氏と云つて、日鮮興業會社の社長なんだ。鑛山を見て有望と覗けたらば相應に資金を提供してもいゝ、この話だから、何うか粗相のないやうに頼む。』

『宜しい！先刻顔だけは見合せたが、別に挨拶を交したほどではないから、改めて紹介をして貰ふことに。』

韓馬を庭の立木に繋ぎつゝ、斯うした對話を取交した後、雅巳は古瀬と共に奥の客間へ通つた。

座敷には鐵の膳部が三人前だけ仕度されて、昇一郎は二三の女中から酒盃の包圍攻撃を受けてゐたが、平素からあまり酒を嗜まぬ方なので、その酒盃は見も返らずに疲れやすめの餐贄のみを囃らせてゐた。

『アーこんだ失禮を。』と、古瀬は廊下から座敷に入つて『これから龍潭鑛山にお出でになれば、碌な晩餐を差上る事も出來んですから何うか一口召上つて戴きたいものです。』

『何有、これでも朝鮮内は旅行をしつけて居るので、今ではすつかり馴れたものです。』と、昇一郎は輕く答へながら、酒盃の一つを飲み乾て古瀬にさした。

『貴方こそ如何で。』

『は、我々は斗酒敢て辭さぬ豪傑組ですから。』と、快く酒盃を受けた古瀬は、襖の外を振返つて呼びかける『岸上君、こつちへ入つてくれたまへ。』

『ぢや、失禮させて戴く事に。』

さう言ひながら、雅巳がこの座敷へ姿を見せると、昇一郎は胡座の膝を組直す。

『何うかその儘に。』と、古瀬は紹介者の地位に立つて『今もちよつとお話したが、神崎昇一郎氏と仰有つて日鮮興業會社を……此方は岸上雅巳と云ふ親友ですから、今後は何分よろしく御交際を。』

『はあ、さうですか。』と、まづ昇一郎が口を切つて『殘てから伺つて居りますが、近頃東京から此方にお出でなすつたさうで。』

『僕も又お名前を伺ひながら、今まで經營してゐた事業の性質が違ふので、つい御面會いたすべき機會もなかつたですが、朝鮮へ來て御交際を願ふことは、實に不思議極まる因縁ですな。』

『まつたく一種の奇緣とも云ふべきでせう。』

いや、然うして初對面の挨拶を交へたばかりだが、この兩人の間には、もつと深い因縁が絡つてゐるのだ……けれど、それとはお互に語るべき筈もない。

○尺八と和洋調和樂（上）

◆調和樂に適する樂器　◆色々研究して尺八を

我國に於ける洋樂も大分發達して來た、モウ和洋の調和樂が出來ても好い時分である、併し和洋の音樂を調和して新に一つの樂を創成するのはなか〳〵大事業である御承知の通り西洋音樂は六ヶ敷い

◇理論が基礎 になつて出來て居る、然るに日本樂には、殆ど理論と云ふものはなく成立が根柢から違つて居る、故に此の二者を混和按排して調和して往くことは、餘程和洋兩樣の音樂に通じたものでなければ企て及びがたいのである、今西洋樂に通じた人が此計畫をすると、何うしても

◇理論に囚はれて了つて洋樂の色彩が極めて濃くなる而して又日本樂に通じた人が其理論を強ひて無視して然ると何處までも日本樂になづんだ可笑なものになつて仕舞ふのである、であるから私は此の企てをなすに當つては和洋何れの樂にも囚はれぬやう出來るだけ

◇虚心平氣に 研究をしたいと考へ、先づ之に當嵌る樂器の選擇から取り懸つた、さうして色々苦心をして最初に三味線を選んで見た是れは強ち惡いとは言へないが併し三味線は何處までも

◇三味線こし て獨立して居るに妙味があるので和洋調和樂に用ゐる樂器としては之れを以て充分とは言へない、次いでは琴曲に就て工夫して見る是れも理想の發現は六ヶ敷い最後に試みに尺八を取つて來た（本居長世氏談、東京）

洋食の食方　スープ

◆西洋料理では隨分閉口させられる人が澤山あります之は西洋料理の食方を御存じないからです其處で簡單に知つて置くだけを申上げます

◇西洋料理にスープは殆んどつきものです日本の方は能くスープを呑むの啜るのと言ひますが本場の西洋では左樣は云はない、スープはドリング（飲む）でなくイート（食る）で又佛語でもブランドル（食る）でボアール（飲む）と言はず、獨逸でもエツセン（食る）でトリンケン（飲む）と言ひません

◇ヘーブが皿に入つて出た時の匙の持方は拇指を上にして柄の中程を横に持ち手前から先方へ掬ふのや側面に口を著けるを正式とするがスープの中に野菜とか何か入つてる時は横三分位の所に啣すが宜しい

◇スープは朝食には食ない事になつてゐる、夫からスープの中にパンを切つて入れて食るのは大禁物である、又音を立てる事も犬や猫のやうだと厭はれます

呉服 京染　しらぎ屋　京城本町三丁目　電長三〇六八

日報柳壇

雛

雛壇の蝋燭持出す男の子　如風
母親を娘にもごす雛祭　若仙
雛の調見を許さぬ男の子　士呂帽
母は未だ隣の雛に泣かさるる　鳥石
飾立てゝ頬赤め合ふ姉娘　正美坊
白酒を禁じ節句靜かなり　大北庵
雛壇に雛のやうなる流行妓　可内
繪に畫けば女なる雛の樣　無丁
大金で買ふ古雛は足が無し　英樹坊
雛衣と名のつく女みんな死ぬ　酒國民

日報歌壇

李天潮一生

ふみ行けば曠野のそこら寂れの草なびきして悲涌かなし
背のびしてふりかへり行けば牌樓の甃の草のなびゐ居たるも
來は來ぬ寂陵に行くいしたゝみの歩きもかろく汗ばみにじみぬ
ましぐらに原頭は走れりはろけくも曠野のはてにうす煙り見ゆ
ペーチカの燃ゆの惡しきにあぐみはてつ窓邊に見れば空は曇天！

○　エービー生

ひんがしの木間隱より太陽は猶空さしておどり出でにけり
一日の仕事かたづけ歸り來て袴をぬげばわびしやほこり

夕べの思ひ　三ケ尻秋村

夜の更けに獨りめざめて見るもう一ぺん流るゝ月の光を
一本の野の草にだによみがへる力あふれて見ゆにけるかな

○　旅野そけつ

いくりは底にへたれどそよたにたゝりた聞くによくなかりける
せめて吾がなさそいぬる夜のゆめにもみいて君がおもかげ

口浮・碧・穂・よ・せ・りを

○

春の女の根性と、さがまさしく値突をした夜、四つ足のたましいが裂けて八つにひろごる、俺の腦から出た尻つ尾がつかへて踊れない、彼の肉が碎けた、笑を草けては突きあたる、俺のぐるり舞踏の難所が、どうする、よそ見が出來ない。

おやつ染（一）

◆埋み豆腐◆　豆腐の汁なつくり、豆腐へ三分の一ほど盛り、その上へ焼き立ての御飯を平らに敷き、その上へ一杯に盛りて蓋をして俯めます、食する時、葉をホロから加へますと、下から豆腐の汁が程よく出て來ます

讀者の領分

▲電車は何處でも問題になるものと見えて東京でも大問題になつて居れば大阪でも能く問題になつた時に改正せぬと困る今の内に……まりますで（株主の一人）▲京城の電車は市民唯一の運輸機關であつた……使用が出來ぬ樣になつたので鳥渡運動會などやる處がなくなつた何うかせめて訓練院の廣場でも開放して貰ふ事は出來ないかしら（運動狂）▲京城市中の……看板には怪しなものや……が多い彼れは何とか改良さする事は出來まいか大いに目障りになる（衛生）▲南大門驛に於て二三錢の剩りがないからとて乘客に用札を渡す事が度々あるがあれで南大門驛の面目が保たれるだらうか果して剩錢がないのだらうか大都會にして其の有樣……出來ないのであらうか……

こうちやのと云ふやうに云爲するのはす中に教育方針がどうちやの……る人が問違つて居る目玉へそんな言を吐く人に限り新聞の一枚も碌に讀めない人である其の癖……もなく乃公は寂い人なり乃公の教へは……樂人に勝れて居るさ思ひ世の中を馬鹿にする……恰も……を說くの類である由來新聞の一枚も正當に讀めない人が社會の罪を知らうきがないから……然らば新聞記者は惡く寂いものであるかと云へば是亦さうではない是は各專門の記者が集まりて所謂……を搜當するのであつて所謂……を集めて一枚の新紙が出來上るのであるから當世の……は夫れが悉く……せられぬのである……欲せば新聞の一枚位は讀める樣になりて後云らがり玉へ（高倖人）

○咸南金融概要 に臨みて元山、西湖津、前津、新浦、新昌、遮湖、汝灣津の諸港を有する由、咸南は地勢の關係上漁業の發達……然も……咸南は……諸港を經て内……を有するに至りしは明治十三年……し金融組織は意外に複雜せり然ども其の純粹なる金融機關の……

▲事業資金 の需要に應じ……近金融界爲めに其の面目を一新……然れども乙等金融……銀行令の發布に依り從來の元山咸興北青の農工銀行本支店は何れも……殖銀の支店となり一層本道金融界……融組合の制度設置せられ來たりしが……立には至らざるも漸次金融機關の……經濟を見んとするに至れり……

……景氣に依り頗る活況を呈するに……ここなり尚ほ昨年四月日本海の……航路開通し爾來日本との取引に多く……持つたり然るに……の世界戰……農作物の收穫に影響することを……

▲新設出張……

金牌受領

本椿香油　本椿ポマード
男女頭髮用
宮内省御用 各宮家御用達 三越呉服店 其他
毛を黒く長くつやを出し 赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙
本舗 大阪西横堀 三宅堂

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛版 …
京日寫眞製版部

正鋼 日本一 大工道具
京城南大門通三丁目
小林萬鋒本店
電話八十四番 振替一七八〇
地方注文ハ引換郵送

京城 朝鮮銀行
當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
本店 京城南大門通 電話…
支店 東京、大阪、神戸、下關、平壌、元山、大邱、釜山、仁川、群山、木浦、鎭南浦、新義州、會寧、羅南、奉天、大連、長春、哈爾賓、吉林、四平街、開原、鐵嶺、青島、濟南、上海、天津…
出張所 …
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

家庭用絞り機械 各種荷著!!
並ニ同器械附屬品 金銀粉染料商品
ミツワ販賣所 京城本町二丁目三番地
木下藥房
振替京城一五四〇番 電話長九三八番

海へ陸へ旅行の好季は目睫に迫れり
各種旅行鞄
服入形皮製 十八圓位より三十四五圓迄
同ワングル製 二十圓位より四十圓迄
手提形皮製 五圓七十錢より十三圓迄
同ワングル製 五圓より九圓六十錢迄
京城日報代理部

宮内省御用達
兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造
サクラ正宗
櫻正宗 櫻魂 發賣元 山邑京城支店
京城明治町二丁目 電話長八四九番 振替貯金口座京城七五四番

内科 小兒科 森病院
京城明治町二丁目江戸川横（電話一六二三番）
入院隨意 醫學士 森 定吉

互光商會汽船廣告
元山西湖、城津、清津行
第三光丸 三月十九日釜山出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三光丸 二月廿六日元山出
釜山 大池回漕部

大阪商船 共同汽船 仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航路）
共同丸 二月廿七日正午出
一月廿八日 ……
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

日本郵船 仁川出帆
大連、大沽行 高砂丸 三月十一日正午出帆
大連、大沽、牛莊行 相模丸 三月廿一日正午出帆
都合ニヨリ早發スルコトアルベシ
仁川海岸町一丁目 郵船回漕部

美人 お化粧の順序
クラブ洗粉　クラブクリーム　クラブ白粉　牡丹ばけ　水ばけ　ぬれタオル　クラブ頬紅　クラブ粉白粉

美の素　クラブ白粉

御結婚前後の 若き御婦人のお化粧には

人生の花とも謂ふべき御結婚前後の妙齢の御婦人のお化粧には、淑女式お化粧法として定評ある左の御化粧が何處でも一番歡迎されて居ります。

肌の第一に一生地の美を増す日本名物『クラブ洗粉』で顔から首筋をよくお洗ひになりますと、すべ〳〵と天鵞絨のやうな手觸りになりますから、其の上へ『一番よくきくアレ日焼止め兼用のお化粧下クラブ美身クリーム』を塗つて、指先でよく擦込んだ後、蒸タオルで輕く拭取り、生地がスツカリ調つた處で、『一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉』を掌に取り、指先でよく塗つてつけ、（襟は顔よりも少し濃くする）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で均らし、濡タオルで押へて白粉を落付かせた後、『お顔にホンノリと櫻色の健康色を出すクラブ頬紅』を目の下から頬へかけて薄くお刷きになりますと、花のやうな鮮麗な色艶が出ますから、それを一層高尚に落付かす爲め、『クラブ粉白粉』をセーム革につけて顔に薄く打ち、一寸襟はポツトに粉白粉を含ませて刷いた上を、セーム革で輕くお打ちになりますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上るのでございます。」